2021年度 challenge奨学金 秋学期受給者

ページ	氏名	学部	回生	テーマ
P.1	内田 裕之	法学部	2	次世代型雇用システム導入の提案―定年制度の視点から―
P.11	馬 銘悦	産業社会学部	1	学生が気軽にヴィーガンを選択できる場を増やす。
P.20	新山 大河	産業社会学部	4	マチヅモ(男性優位社会)のメカニズムを解きほぐす―バンドマンの生活史を通じた事例研究―
P.30	森田 健乃介	産業社会学部	4	元マリファナ常用者の語り過去のレッテルとその克服
P.39	上村 菜々美	文学部	2	オンラインを利用してコロナ禍で失われた人と人とのつながりを取り戻す。
P.47	加藤 芙美乃	文学部	4	卒業論文「京都府和束町における観光地化の持続性」の学会発表のための高度化
P.56	大川 純礼	文学部	4	コロナ禍での素人大学生による映画制作が、全国の大学生に希望を与え、日本社会を活発にする。
P.65	前田 紗花	映像学部	4	立命館大学校舎やその周りの建築物、取壊し直前の母校をＣＧやパノラマコンテンツでデジタルアーカイブ化、閲覧するサイト作成
P.72	牟田 眞乃香	経済学部	2	京都の商店街にある小売店がオンライン販売に使えるプラットフォームを作りたい
P.77	橋口 涼	経済学部	4	ヤングケアラー・若者ケアラーの現状を元当事者の視点からウェブサイトで発信、支援の手立ての検討。
P.84	萩原 孝紀	理工学部	3	新機構「超電導コイルを用いたギロアクチュエータ」の開発
P.92	萩嵜 真波	理工学部	3	タカの渡りの観測データを気軽に投稿し、情報共有のできるアプリの開発
P.98	神原 夏穂	理工学部	4	アフターコロナにおけるコミュニケーションの場について今後のあり方・建築を考え、発信する
P.104	栗原 優佳	食マネジメント学部	2	ナチュラルチーズの魅力を広めたい
P.111	平田 束	食マネジメント学部	2	ナチュラルチーズの魅力発信とホエイの新たな活用を考える
P.121	江波戸 七央	食マネジメント学部	3	「世界的に注目されているフードテック食材を使い、学生が持続可能性社会に興味を持つきっかけを作ります」
P.124	本間 俊平	食マネジメント学部	3	琵琶湖の水産物を美味しく食べることで魅力を発信する。
P.134	山本 花菜	食マネジメント学部	3	「FakeからRealへ」-自作の偽物の食べ物の商品→利益→寄付→本物の食べ物を届ける-
P.142	新崎 真緒	食マネジメント学部	4	影に隠れた食材に光を当てる瓶詰め食品
P.147	吉越 萌	食マネジメント学部	4	YouTubeで一次産業の魅力を発信
P.152	藤沢 舜也	情報理工学部	1	アイデアの取引サービスの開発、運営。
P.159	阿部 竜也	情報理工学部	3	研究室やサークルルームなどの入室事前予約と入室ログを管理するための施設利用予約サービスの開発。
P.165	石川 琉聖	情報理工学部	3	ZoomやMicrosoft Teamsなどに存在するバーチャル背景機能を除去する技術の開発及びその対策手法の提案
P.171	中山 崇嗣	情報理工学部	3	二重脅迫型ランサムウェアによるデータ流出を防ぐためのファイル暗号化システムの開発。
P.177	星名 藍乃介	情報理工学部	3	ワードクラウド画像生成Webアプリを構築して文章を可視化する
P.184	CAI Weihao	情報理工学部	3	南草津観光ガイドAPP_「ようこそ南草津『遺跡と萩の育むまち野路』の玉川へ」
P.190	榊原 七夏海	スポーツ健康科学部	2	ヒトの下肢動作と連動して歩行可能なロボットの制作
P.196	長岡 柳乃輔	スポーツ健康科学部	2	被験者を募集している研究者と治験に参加したい学生をマッチングさせるサービスを作る
P.204	矢地 夏己	経営学部	2	オーストラリアの深刻な農業従事者不足解消に携わり、日本農業のこれからの人材不足解消法を考える。
P.212	秋森 晃希	経営学部	3	地元ばたけ（Local Farm）.地域コミュニティーベースとしての休耕地活用型の市民農園.
P.219	一瀬 優菜	経営学部	4	日本のエシカル精神を呼び起こすため、海外でフィールドワークをし、得た知見を発信します
P.227	野村 壮馬	経営学部	4	ノーコードを用いた起業支援・教育事業
P.236	宮川 岳	政策科学部	4	新規事業に特化した受託開発事業
P.241	宮城 こもも	グローバル教養学部	2	コロナ渦の中でも、人同士の関わりをもつ。子供達に英語の楽しさを知ってもらう。
P.247	ARENDT Patricia Gyoergyi	国際関係学部	3	eBook for newcomers who are planning or already living in Japan focusing on improving integration
P.255	BRYNADA Dewi Fikri Hardiman	政策科学部	4	Maintaining the balance of students' health during their studies, I plan to create a yoga workshop for international students in Ritsumeikan University. This will help them improve their studies by fixing their postures and se f-awareness.

法学部2回生　内田 裕之

①日本の雇用政策が目指すべきところ
―サントリーHD新浪社長の提言を踏まえて―

- 昨年7月、基礎演習Ⅰの最終レポートを作成している段階で後述のように考えた。
- その後、今年の9月にサントリーの新浪社長が経済同友会における議論になかで、「45歳定年制」について発言して物議を醸したところである。
- したがって、今回の活動目的は、以上の点を踏まえて日本の雇用政策が目指すべきところを考察するところにある。

②「活動内容」

はじめに

・報告の背景:新型コロナウイルスの中で加速する働き方の変化に対し、日本社会は長年の様々な課題を抱えている。従来の日本型雇用システムからの脱却が求められており、次世代型雇用システムとして2段階型雇用システムを導入すべきだと思うに至った。

・定義:2段階型雇用システムとは、第1段階は日本型雇用システムをモデルとして定年を50歳とする。第1段階の定年を迎えた後、第2段階は欧米型雇用システムをモデルとして定年を設けないとする制度である。若者や子育て世代の安定の確保と待遇の向上を図りつつ、能力主義や成果主義、ライフスタイルの多様化に対応した次世代型雇用システムである。

・問題提起: 日本の次世代型雇用システムとして2段階雇用システムを導入するべきではないだろうか。

・報告の目的: 従来の雇用システムを踏まえ、2段階雇用システムの有効性を検討する。そして、2段階雇用システムを導入するべきであると結論づける。

②「活動内容」

Ⅰ　雇用システムの類型

(1)従来の雇用システム

・日本型雇用システム

→メンバーシップ型雇用＝終身雇用や年功序列を前提とし、人材を採用して会社に最適化するように人育成する雇用システム。

・欧米型雇用システム

→ジョブ型雇用＝能力主義や成果主義を基調とし、仕事に最適な人材を採用する雇用システム。

(2) 2段階型雇用システム

2段階型雇用システムは各ライフステージと日本社会に最適な雇用システムの実現を目指したものである。

・第1段階(定年50歳)

→若者や子育て世代の安定の確保と待遇の向上(＝メンバーシップ型雇用)

・第2段階(定年なし)

→能力主義や成果主義、ライフスタイルの多様化に対応(＝ジョブ型雇用)

②「活動内容」

Ⅱ　日本社会の諸課題の解決

(1) 企業利益の向上

・大きな課題は「人件費の調整」と「雇用の調整」

・その他の課題は「従業員の意欲や質の低下」や「企業体質の保守化」

→黒字の企業であっても主に45歳以上を対象とした早期退職者の募集が相次ぐ。

・国の定年制度政策

→人手不足や社会保障費の増大を懸念し、定年年齢の引き上げを推進。

・第1段階の定年を50歳とすることで課題を解決

→早期退職者の募集する企業の立場に沿う。

・第2段階は企業利益の向上に貢献

→国の立場にも沿う。

②「活動内容」

(2) 少子化の改善

・大きな課題は「養育費と教育費の負担」

・その他の課題は「家庭と仕事の両立」

→若者や子育て世代の安定の確保と待遇の向上、女性の雇用環境の改善が必要。

・第1段階の日本型雇用システムの強みと若返りで課題を解決

→若者や子育て世代の安定の確保と待遇の向上を図る。

・第2段階は能力主義と転職市場の活性化で課題を解決

→性別やキャリアに関係なく、能力のある人材の活躍を図る。

②「活動内容」

(3) 多様なライフスタイルへの対応

・「終身雇用」と「年功序列」が障害

→ライフスタイルの選択肢を狭めている。

・第1段階の定年を50歳とすることで障害を克服

→多様な選択の契機となり、チャレンジが社会を活性化させる。

・第2段階はジョブ型雇用で障害を克服

→転職市場の活性化と選択肢の多様化でQOLが向上する。

②「活動内容」

Ⅲ　システム導入における諸課題

(1)社会の合意形成

・第2段階での失業率の悪化

→現状の終身雇用の維持は困難である。

→いずれAIの普及で能力や専門性のない人材は淘汰される。

→むしろ早期のスキルアップで備えるべきである。

・定年廃止による就労の長期化

→年齢で区切ることは差別にあたる。

→国の定年年齢引き上げの方が強制的である。

→個人が主体的に判断できる。

・広範に及ぶ影響

→雇用システムは社会システムの中心であるから当然である。

→むしろ雇用システム改革なくして劇的な改善は困難である。

→2段階型雇用システムで根幹を固めるべきである。

(2)制度設計と法整備

・広範に及ぶ影響を考慮した具体的な制度設計

・具体的な法改正

→今後の検討課題である。

②「活動内容」

- 活動テーマ・目的に基づき、これまでの間、図書館に通うことで、WEB、書籍、新聞、雑誌等様々な媒体のメディアに触れて、自らの着想、これまでの議論、現在の議論を俯瞰して、雇用制度の進むべきところについての思索を深めた。
- 以上で得た知見を踏まえて、夏に予定されている論文コンテストに向けて執筆活動を進めている。

③「活動の成果（活動して得たこと、失敗から学んだこと）」

- 活動の成果は、目に見えるものから見えないものまで多岐にわたるが、特に成果が上がったと感じるものについては以下の通りである。
- 多角的に情報を収集し、それを総合することで、一定の方向からの見方にとらわれることなく検討することができた。これによって、端緒となったサントリーホールディングス社長の発言の意図、日本の雇用状況をより深く知ることができた。

④「今後の活動内容や今後のビジョン」

- 雇用問題は社会生活に大きな影響を及ぼす事柄で長年議論の対象となっており、にわかに解を導くことは困難である。その中においても、これまでの議論の経過を把握し、それを基盤として自らの知見を深めることができたことは重要な成果であると考えている。
- 前述の通り、道半ばであるが、今回の奨学金受給をさらなる飛躍の踏み台として、コンテストが集中している夏の時期に向けて論文をまとめて行きたいと思う。

テーマ

学生が負担意識なく環境保護につながる活動ができる仕掛けをつくる

産業社会学部　１回生　馬銘悦



シェアリングサービスを考案した経緯

脱プラ

環境保護と聞くと

節水

環境保護＝生活の質を脅かすもの

環境保護に対して負担意識意識をもつがゆえに
アクションを起こさない人が多い

人に意識は簡単に変えられない。
意識を変えられないのなら、人々が環境保護をするという意識なしで、
環境保護に繋がる行動をしていたという仕掛けを作ったらいいのではないか

リルクル
Rircle

キャンパス内専用 遊休物品のシェアリングサービス

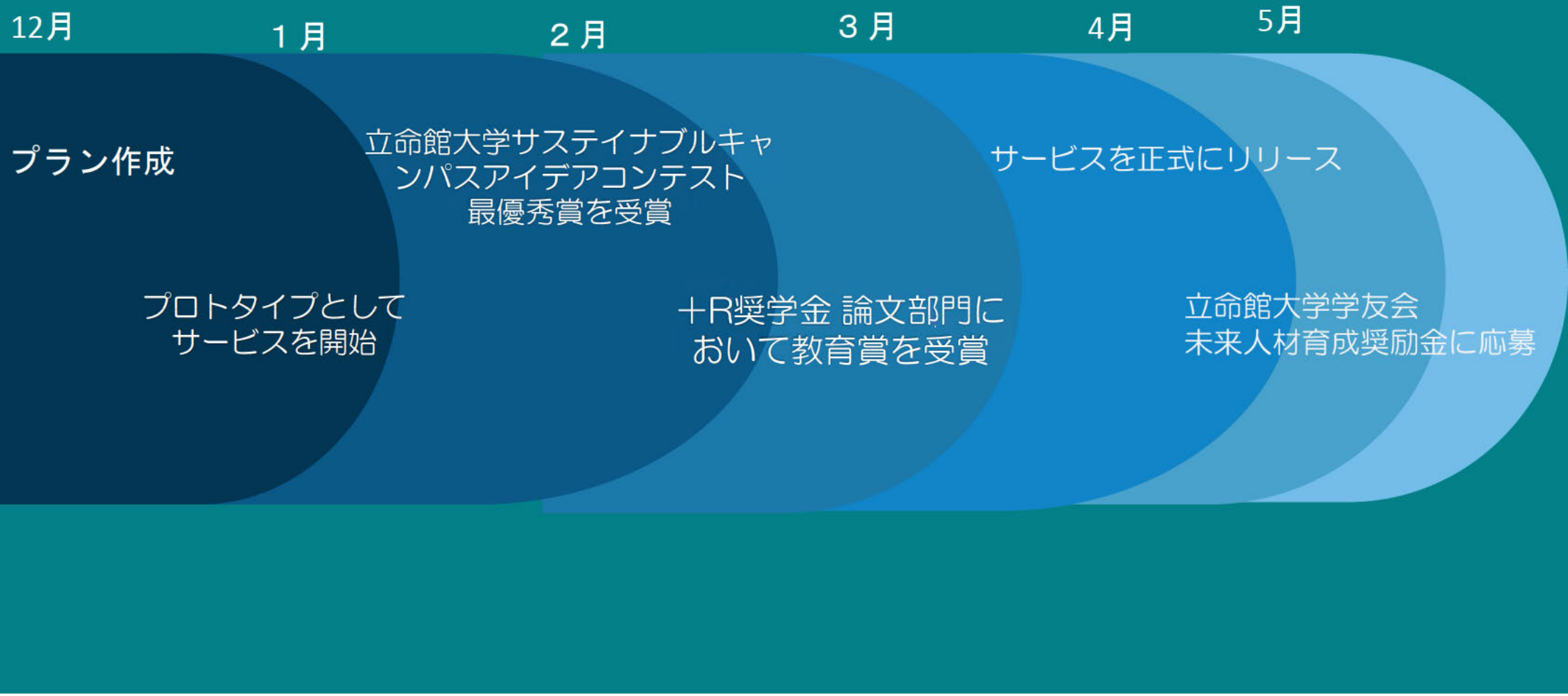
事業概要

遊休物品を出品とレンタルができるプラットフォームの提供

ミッション

個人が所有する使わなくなった良質なモノをシェアできる場を提供することで、キャンパス構成員のハイグレードでサスティナブルな生活を実現する

これまでの活動と今後の予定



リルクル
Rircle

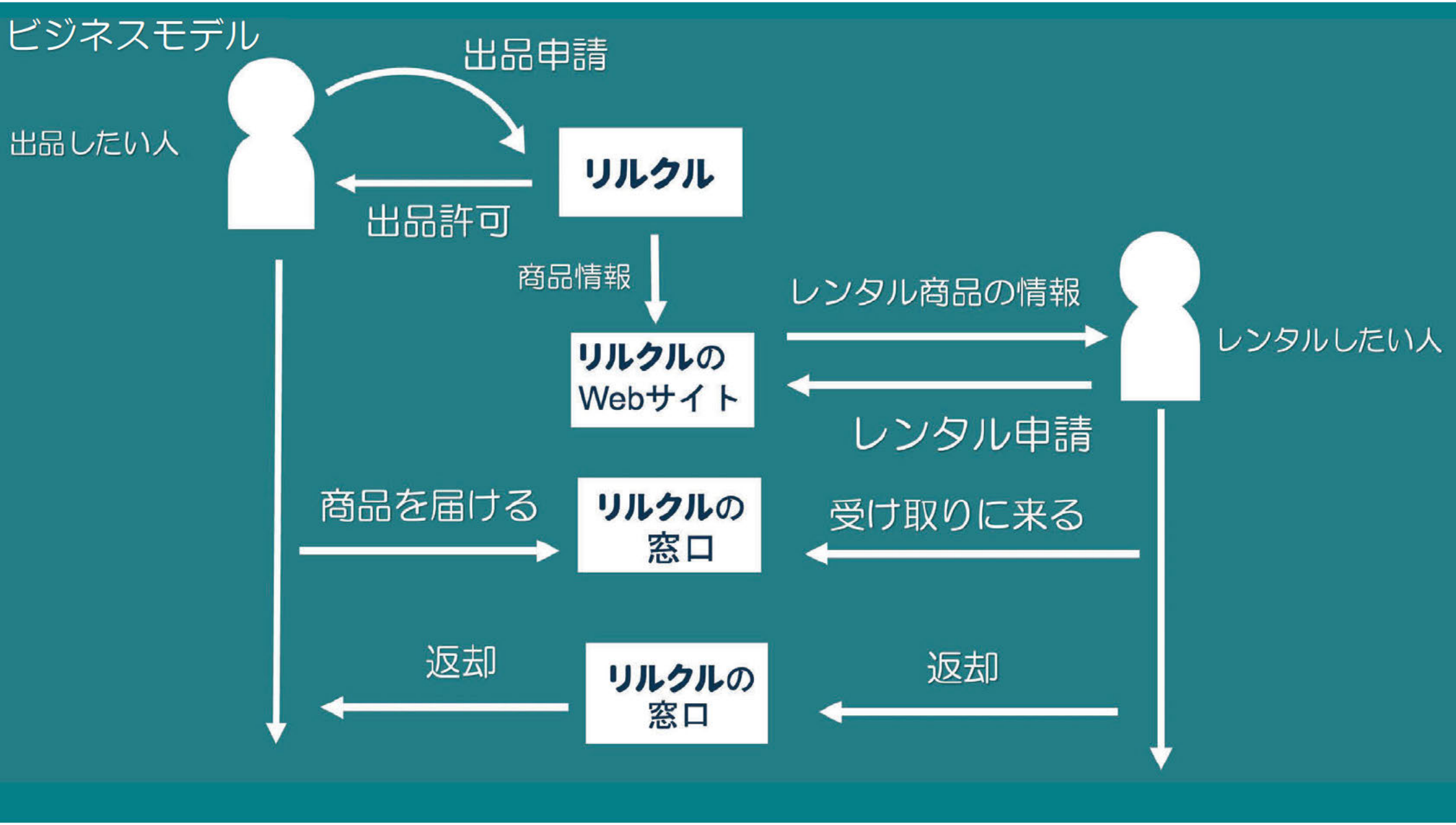
キャンパス内専用 遊休物品のシェアリングサービス

事業概要

遊休物品を出品とレンタルができるプラットフォームの提供

ミッション

個人が所有する使わなくなった良質なモノをシェアできる場を提供することで、キャンパス構成員のハイグレードでサスティナブルな生活を実現する


ビジネスモデル
出品申請
出品したい人
リルクル
出品許可
商品情報
レンタル商品の情報
リルクルの
Webサイト
レンタルしたい人
レンタル申請
商品を届ける
リルクルの
窓口
受け取りに来る
返却
リルクルの
窓口
返却

出品物品の例

楽器



パーカッション



エレクトリックドラム

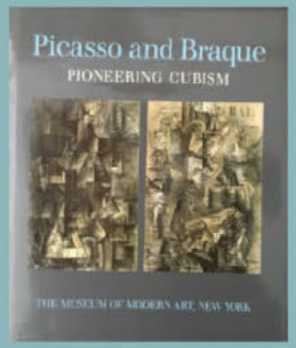


インドパワカジ



三弦ギター

画集



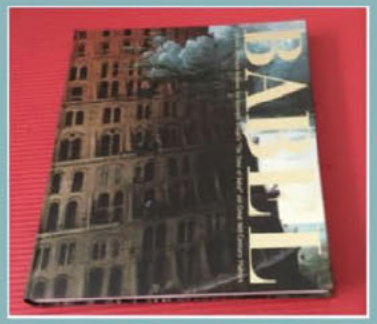
Pablo Picasso
パブロ・ピカソ



Paul Klee
パウル・クレー



Louvre Museum



Pieter Bruegel
ピーテル・ブリューゲル

WEBサイトのURL https://ricle.jp/

インテリア



プラネタリウム

ホビー



絵画ジグソー

楽譜



George Crumb
ジョージ・クラム



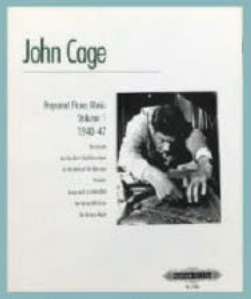
Mark-Anthony Turnage
マーク=アントニー・ターネイジ



Krzysztof Penderecki
クシシュトフ・ペンデレツキ



Tōru Takemitsu
武満 徹



John Cage
ジョン・ケージ



György Ligeti
リゲティ・ジェルジュ

レビュー

2021.12.24.
スピーカ　産社　2回生



自分がまだ見ぬ「新しい世界」を
知ることのきっかけとなった

2022.1.10.
画集　産社 1回生



モノを通じて人と繋がることができた

2022.1.10.
絵画ジグソー　産社1回生



軽くデジタルデトックス

2022.1.11.
電子ドラム　産社1回生



ドラムってこんなにも楽しんだ

2022.1.28.
カリンバ　産社1回生



美しい音色に癒されます

2022.2.15.
プラネタリウム　国関 2回生



衝動買いを抑制できる

2021年12月末から学生に‘サービスを利用していただいた。

リルクル Rircle

Challenge奨学金
活動報告

産業社会学部　新山大河

01

活動テーマ①

ライブハウスとコロナウイルス
―音楽産業におけるコロナウイルスの影響―



活動目的①

災害と文化の揺らぎを音楽業界の人々の生活史から記述し、学会報告・論文投稿を通じて文化社会学に貢献すること。

活動内容①

文献購読

↓

インタビュー

↓

文字起こし

↓

資料整理

↓

学会報告

04

活動の成果①

2022年12月4日(土)

日本ポピュラー音楽学会主催

第33回年次大会個人発表

05

活動テーマ②

マチヅモのメカニズムを解きほぐす
―バンドマンの生活史を通じた事例研究―





06

活動目的②

男性性の誇示を評価軸とするコミュニティーへの参与を通じて、マチズモ(男性優位社会)が維持され、再生産されるプロセスを明らかにする。

07

活動内容②

文献購読
↓
インタビュー
↓
文字起こし
↓
資料整理
↓
論文執筆

08

活動の成果②

岡本茂樹奨学金(産業社会学部優秀論文賞)受賞

【SNSでの反響】

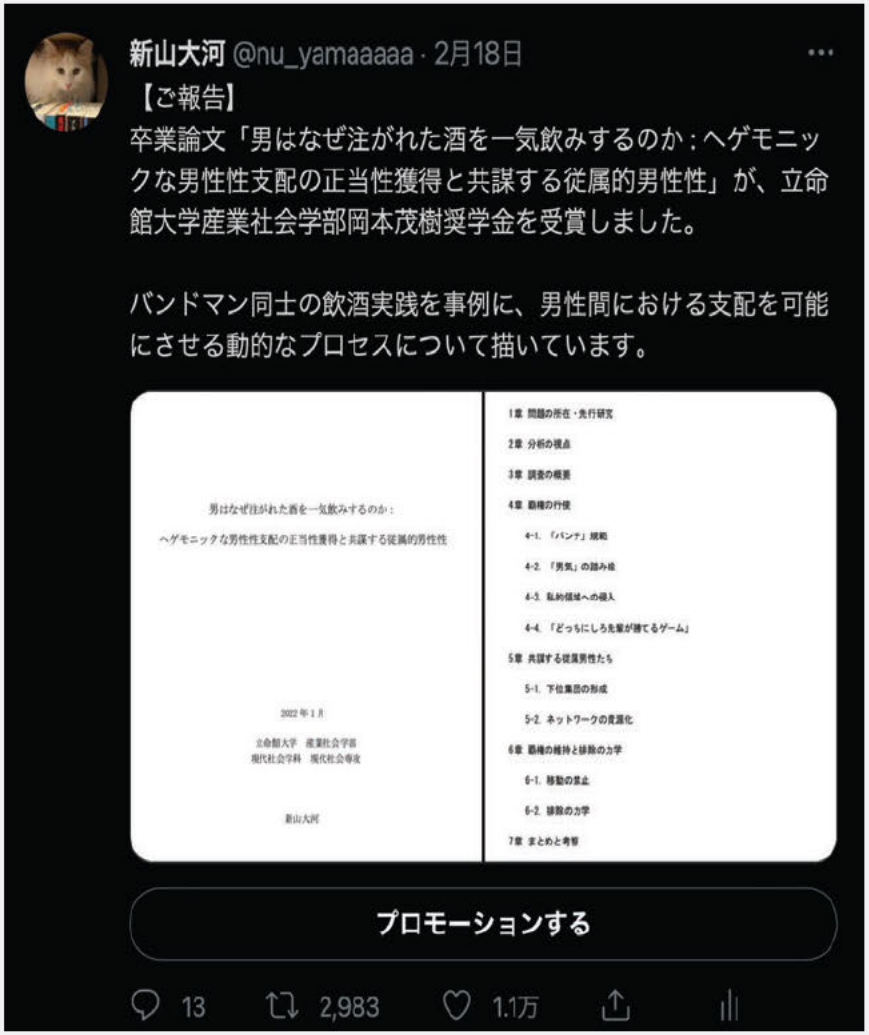
RT:3021

いいね:1.1万

インプレッション:116万

エンゲージメント:10万

(2022年2月26日時点)



今後の活動内容/ビジョン

①5月に学会誌へ論文を投稿する

②3月に学会報告（予定）
　9月に学会誌へ論文を投稿する

＋新たな調査を開始予定

元マリファナ常用者の語り

過去のレッテルとその克服

産業社会学部現代社会学科4回
森田健乃介

問題・背景

大麻事犯検挙人数

平成25年　1,616
↓
平成29年　3,218
↓
令和1年　4,570

大麻事犯は増加傾向にある

ブラックボックス

ジャーナル分野において、その詳細については触れられない

社会学におけるドラッグ使用者の先行研究は少ない

相互作用

立ち直りに対する不寛容な態度＋立ち直り支援の不足

知らないもの＝怖い

活動目的

- ブラックボックスとなっている
  大麻使用の実態を把握

- 調査で得られたデータから、
  啓蒙活動を展開

活動内容

①先行研究や関連文献から、ドラッグ問題に関する知識を得る

- 調査法の学習
- 日本における大麻規制の歴史
- 犯罪社会学における、既存の理論の学習
- ドラッグに関する基本的な知識の学習
- 社会学におけるドラッグ使用者研究の系譜

②大麻使用経験者へ調査を行う

- インタビュー調査を採用
- オンラインでの調査に変更

③得られたデータから啓蒙決道を行う

- 大麻使用に関する啓蒙活動
- 「立ち直り」支援に関する啓蒙活動
- ポスターによる広報
- SNSによる広報

活動成果

①調査について

・フィールドワークは「ある地域や集団を対象とした、総合的な実態調査」(岸, 2019)。
・質的調査では「厚い記述」によって語りの文脈を捉えることができる点に強みがある(桜井, 2005)。
・オンライン上での調査に伴う問題解決のプロセスから、自分に合った調査法を見つけ出すことが出来た
・非構造化インタビューを用いて、インフォーマントと比較的自由なインタビューを展開することで「厚い記述」を捉えることができた。

活動成果

②日本のマリファナ使用の実態について、犯罪社会学における既存の理論にあてはめて検討

ボンド理論

- 自分にとっての大切な「他者」の存在
- キャリアや私生活
- 逸脱行動にいたる時間的余裕の有無
- 所属集団の持つ規範への信頼

分化的接触理論

- マリファナ喫煙を行っている集団への所属
- 集団への接触頻度
- 集団内での逸脱行動の学習の有無

ラベリング理論

- 初回のマリファナ使用による「マリファナ使用者」のラベル
- 予言の自己成就のメカニズム

→ドラッグ使用に至る要因は様々

活動成果

③立ち直りについて

- **逮捕という「排除」ではなく、「再包摂」を視野に入れた政策**
- **「善き市民」としてのラベリング**
- **社会的ボンドとなる職業支援や所属集団との関係の構築**
- **ドラッグ使用の準拠集団・ドラッグの入手経路となる集団との関係**

→ポスター・SNSによる情報発信

今後の活動内容・ビジョン

- 大学院進学後も活動の継続
- 広報活動の反省→SNS運営の継続
- 海外の議論を視野に入れた検討を行う（４D政策・ハームリダクションなど）
- 大麻以外のドラッグについての調査（LSD、覚せい剤など）

参考文献

岸政彦・石岡丈昇・丸山里美, 2019, 『質的調査の方法–他者の合理性の理解社会学』有斐閣.

桜井厚, 2005, 『インタビューの社会学–ライフストーリーの聞き方』せりか書房.

岡邊健, 2020, 『犯罪・非行の社会学–常識を捉えなおす視座』有斐閣ブックス.

佐藤哲彦, 2008, 『ドラッグの社会学　向精神物質をめぐる作法と社会秩序』世界思想社.

山本奈生, 2021, 『大麻の社会学』青弓社.

相良翔, 2019, 『薬物依存からの回復　ダルクにおけるフィールドワークを通じた社会学的研究』ちとせプレス.

本田宏治, 2011, 『ドラッグと刑罰なき統制–不可視化する犯罪の社会学』生活書院.

佐藤哲彦, 2009, 『麻薬とは何か–「禁断の果実」五千年史』新潮社.

2021年度立命館大学 CHALLENGE奨学金　成果報告書

[redacted]

文学部人文学科言語コミュニケーション学域
コミュニケーション表現専攻
二回生　上村菜々美

活動テーマ・目的

- オンラインボランティアサークル「ソンリッサ」として、ボランティア活動を行う。

  コロナ禍で活動の発表場所を失った学生サークルと、
  外部との交流が減ったデイサービスや老人ホームとをオンラインを通してつなぎ、非対面非接触オンラインイベントを行う。

活動内容

- zoomを使用してオンラインイベントを開催する。

  事業所とサークルをそれぞれ別の場所でつなぎ、リアルタイムの映像を見ながら交流する。カメラやマイクを通してお互いの反応を確認し合うことが出来る。

活動計画

月	詳細
10月	前回イベントの反省
11月	第二回企画の発案
12月	第三回企画の発案
1月	事業所探し、サークルとの打ち合わせ
2月（予定）	第二回イベント（落語研究会）
3月（予定）	第三回イベント（フラダンスサークル）

第二回　落語会

- 二月中旬に太秦デイサービスと立命館大学落語研究会でオンラインイベントの落語会を開催を予定していた。しかし、コロナの影響やオミクロン株の流行により、開催を延期することになってしまった。現在、日程は確定していませんがコロナの状況次第では三月に開催する予定である。

- 前回の第一回落語会の反省を活かし、演者と観客の距離を縮めるために事前に配布するパンフレットなどを制作している。

第一回　フラダンスイベント

- 三月下旬に立命館大学Hawaiian circle meahulaと協力して、新しいイベントの企画をしている。演者が一つの場所に集まる必要があるため、現段階でのイベントの開催は困難であるため、具体的な日時は未定である。

- ダンスの発表ということでこれまでにない形で観客と演者の距離を近づける取り組みを行う必要がある。

活動の成果

- 支給された奨学金を使用して、ホームページを作成した。その結果、まだ依頼は来ていないが毎日多くの人にサイトを閲覧してもらえている。これから実績を重ねてサイトを更新し、そこからの依頼を獲得できるようになりたい。
- イベントを企画するにあたって、これまでにない形のイベントなため、サークル側の準備が想定より長くかかった。発表方法を大きく変える必要もあったため、それらのサポートをもっと具体的に行えるようになりたい。
- コロナの感染者数の増加に伴い、事業所やサークルの事前見学が厳ししくなってしまったため、ほとんどの活動をオンラインで行った。実際のイベントも行うことはできなかったが、準備を進めることができた。

今後の活動

- 第二回イベント　落語会の開催
- 第三回イベント　フラダンスイベントの開催
- ホームページの更新
- オンライン型イベントの認知度を上げる

卒業論文「京都府和束町における観光地化とその持続性」の学会発表のための高度化



文学部４回生
加藤　芙美乃

活動テーマ・活動目標

活動テーマ

卒業論文「京都府和束町における観光地化とその持続性」の学会発表のための高度化

活動目標

先行研究とは異なり、多様な担い手について考察する、独創性を持つ論文を執筆する

→学会発表に推挙されることによって、和束町の認知度向上にも貢献する

卒業論文の研究方法

研究対象：京都府和束町　**タイムスパン**：1988年～現在

・資料考察(和束町地域力推進課提供資料)
・聞き取り調査(和束町地域力推進課、和束茶カフェ代表、恋茶グループ会長、援農プロジェクト代表)
・アンケート調査(有機茶研加入農家、和束茶カフェ会員)

→先行研究とは異なり、聞き取り調査を複数回行い、**観光地化における担い手の多様性**について考察

京都府和束町について・結論

京都府和束町について

・鎌倉時代から続く京都府内有数の茶生産地
　→京都府内産の茶の約43%を生産。

・近年は茶の価格が下落し、少子高齢化により過疎地域となる

茶の6次産業化・地域ブランドづくりによる観光地化が推進される

結論

・行政組織だけで農村の観光地化を行うのは困難
・地域内外の住民や外部組織、さらにU・Iターン者など多様な
　担い手の連携によって、観光地化は推進・持続されている

活動内容

１１月	・聞き取り調査の実施（対面） ・郵送、配布によるアンケート調査の実施 ・ゼミでの中間報告
１２月	・卒業論文の提出
１月	・口頭試問へ参加（zoom）
２月	・学会発表に向けて要旨、パワーポイントの作成
３月	・立命館地理学の要旨の作成 ・学会にて卒業論文の発表(zoom)

活動の成果

目標の達成度　　4

計画の達成度　　4

→優秀論文に選定され、当初の目標である学会で発表することは決定したが、まだ発表していないため。

→学会での発表は、2022年3月上旬

評価例：1（達成できなかった）←3（どちらともいえない）→5（達成できた）

活動の成果

活動して学んだこと

・締切に対して、余裕を持って行動することの大切さ
・見直し、確認することの大切さ
・行き詰まったときも、周りの方からの応援で、何とか卒論を執筆できたこと
・必要なデータが揃わなくても、代替案を考えることで、卒論の内容を充実化できたこと

→・**目標設定力**
　・**課題解決力**　　を培うことができた

活動の成果

活動が周囲へ与えた影響

和束町

→和束町の認知度を上げることで、観光客増加・茶の購入量増加に微力ながら貢献できる

発表を聞いた人・論文を読んだ人

→農村の観光地化における担い手の多様性、茶を活かした観光地・和束町の魅力について知ってもらうことができる

今後の活動内容やビジョン

３月	・立命館地理学の要旨の作成 ・学会にて卒業論文の発表(zoom)
３月以降	・学会誌に卒業論文が掲載されてから、 和束町の方へお礼もかねて論文を渡す

社会人として働く際も、今回培った

・**目標設定力**

・**課題解決力**　　を活かす。

チャレンジ奨学金成果発表

文学部人文学科国際コミュニケーション専攻　4回

大川純礼

活動テーマ

【コロナ禍での素人大学生による映画制作が、全国の大学生に希望を与え、日本社会を活発にする。】

・コロナ禍にでもできること、挑戦すること

・私たちの映画や活動記録が若者の背中を押す

・2021年の大学生活のアーカイブを残す

団体と活動目的

- **natsumeki films**：「映画を撮りたい」という想いだけで集まった映像制作とは無縁であった素人大学生13人。コロナ禍で課外活動が制限される中、大学や居住地もバラバラであるためにオンライン会議で準備を進めた。

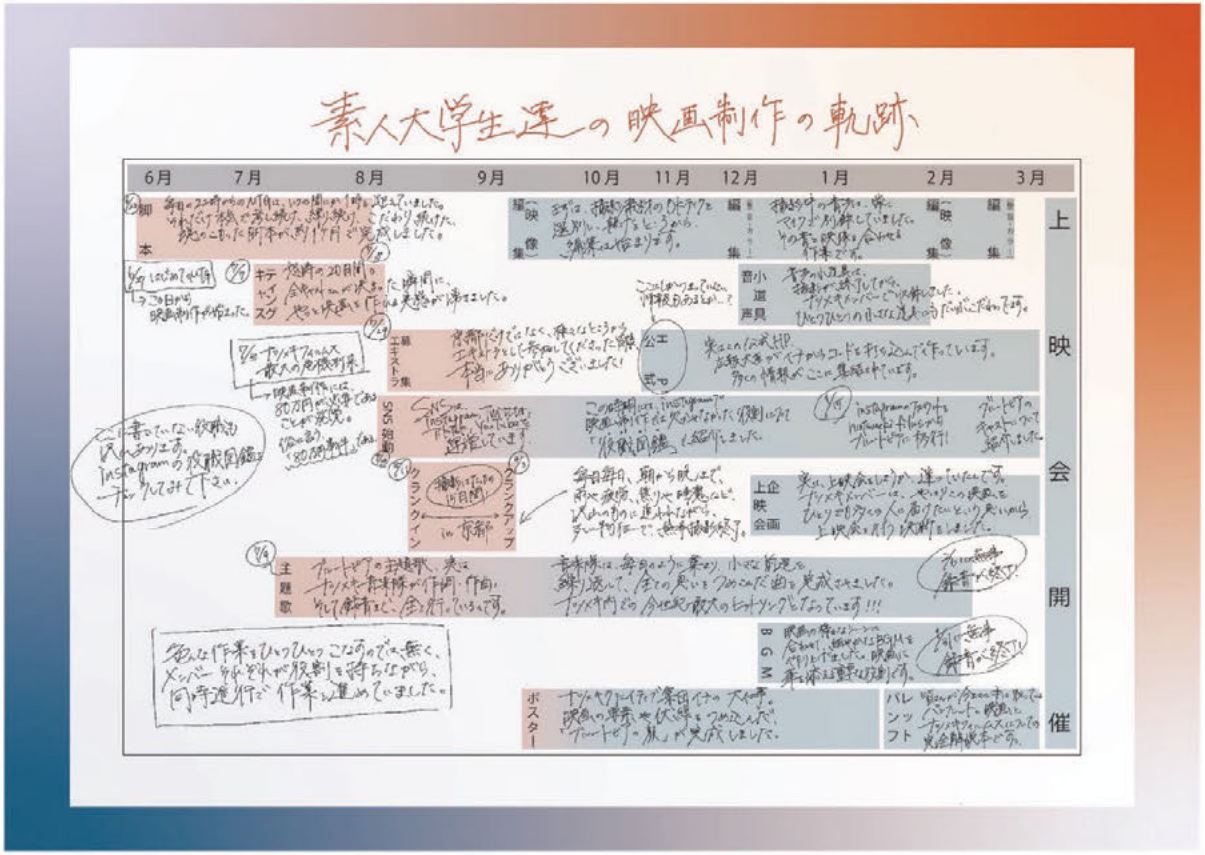
「トキメキを形に。」



これまでの活動

6月　結成
7月　撮影準備
8月　撮影
9月～編集、整音、主題歌BGM制作
12月～　上映会準備

広報活動
6月　インスタグラム、Twitter開設
3月　ホームページ完成





映画『ブルートピア』上映会

私たちの活動や作品を学生、同じ時代を生きている人に届けるために開催を決意。

【ブルートピア】

子どもではなくなってしまったけれど、大人にもなり切れない。人生の隠れた階段で、“自分”を見失い彷徨う若者の世界。

２人の主人公(大学生)がそれぞれ抱える矛盾や葛藤と向き合う様子をリアルに描いた作品。
2021年という時代を生きた大学生のアーカイブ。
夢か現実か、自分か他人か、大人か子どもか…。何者にもなれなかったそのイニシアチブを遠くから見つめるときがいつか来る。

活動内容(計画と軌跡)

12月下旬　上映会初MTG

- 上映会詳細決定

2月

- 会場決定
- 広報活動・集客
- 必要備品調達

3月

- リハーサル







活動の成果・学び



【計画力とやりきる力】
・ゼロからイベントを作る⇒責任感
・蔓延防止対策を意識した変更
(一公演の人数を減らす、会場の徹底的な感染防止対策、事前体調調査)

【周りと本気でぶつかること】
・人間的な成長
・いいものをつくるということ

私たちができたこと(社会・周囲への貢献)



素人大学生の背中を押す、ともに挑戦する

映画制作に興味を持ってくれた方　間接的に力になる

京都で大学生活を送ること　京都の魅力

今後の活動

- 3月12日、19日　上映会(各日3公演×2)
- コンペティション応募
- 無料公開
- サウンドトラック公開

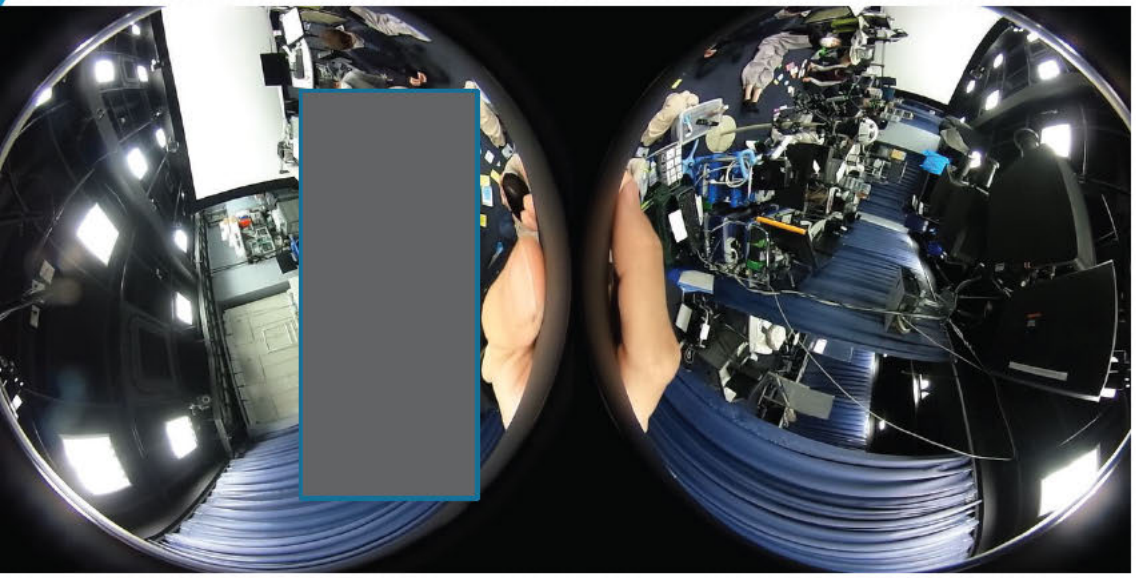


校舎をパノラマコンテンツでデジタルアーカイブ化

映像学部　4年　前田紗花

①「活動テーマ」

立命館大学校舎やその周りの建築物、取壊し直前の母校をＣＧやパノラマコンテンツでデジタルアーカイブ化、閲覧するサイト作成





②「活動目的」

高校は新校舎に不足している施設や設備のための寄付を募るためにこの企画を翌々年の創立１００周年企画と結び付けることができたので、制作したサイトやコンテンツで後輩達を助けたいと考えております。

また、文化資材だけでなく校舎や身近な資材の文化や歴史を守るためのデジタルアーカイブ化を促進する目標を持って取り組んでおります。

立命館大学のアーカイブでは現在大学内の歴史を見て触れることができにくい学生やOBOGの方々や学外の方々へ向けた、サイトやコンテンツ作成によって立命館の魅力に触れてもらいたいと考えております。

③「活動内容」

OBOGや映像学部生の協力を得て各教室と施設の360度映像を去年テスト撮影しました。

今は360度カメラや３Ｄスキャナで校舎のデータを取り込み、撮影した写真や形状データを360度の３Dパノラマコンテンツにつなぎ合わせる作業をソフトウェアで行っております。

複合現実感技術を専門分野とする大島教授とフォトグラメトリとデジタルアーカイブ担当の古川准教授にご指導をいただき、現在制作途中段階ですがVR等で歩行する感覚での閲覧が可能なWEBサイトを作っています。



④「活動の成果（活動して得たこと、失敗から学んだこと）」

- 企画の情報を共有したり、他の方々の企画に協力したり、その熱意を聞くことでモチベーションが上がることが分かった

アーカイブ化するために聞き込んだ情報はサイト上に表示しましたが、それだけでなく今回の件で関わることになった方々との情報共有やコミュニケーションで改めて目的について考え志を高めていくことができました

- 壁に当たっても計画をすぐさま切り替える能力や、一人でもやり遂げる主体性が身についた

やはりずいぶん前からキャストや対面での交流を主にした計画を立てていた分、それが叶わなくなったためストレスが増え中断も考えましたが、逆にそのおかげで少人数でも、コロナ禍でも貢献できる方法を模索し、計画をすぐさま切り替える能力や、一人でもやり遂げる主体性が身についたと思います。

⑤「今後の活動内容や今後のビジョン」

高校の方は3月後半以降にサイト公開設定を変更し、感想コメント欄を充実させ100周年企画の募金サイトとの連携を開始するためスケジュールに従ってこの活動は継続します。立命館大学のコンテンツ制作も同じ方法やプログラムコードで動くので今回のプログラムを使ってこれからも進めていこうと思います。

内定先が、ARやVR、3次元センサなど新技術を使ったイノベーションを目指す部署のため、今回の取り組みや反応に基づいてこの情勢やこれからの未来にあるべきコミュニケーションやコンテンツの取り組みをしていきたいと考えております。

ご清聴ありがとうございました

前田

①
活動テーマ

- 京都の商店街にある小売店がオンライン販売できるプラットフォームを作りたい

②
活動目的

- コロナ禍で国内からの観光客や外国人観光客が激減した商店街を活性化させる。

③
活動内容

- プラットフォームの作成

プラットフォームはスクラッチ開発だと多額の費用が掛かってしまうためwordpressを用いて構築する。

サイトに実装したい機能は会員登録機能（商品を出品する店側のみ）、店側の商品登録機能（価格設定も含める）、店側の投稿機能（ブログ形式）、店側購入者側でのやりとりを行うためのメッセージ機能、クレジットカード決済機能、ユーザーレビュー入力（5つ星評価、文字入力も可）、カテゴリー別検索機能

④
活動の成果

- ブログ型のサイト作成しかしたことがなかったが、wordpressのプラグインを用いててレビュー入力機能とカテゴリー別検索機能を作成する経験を積めた。
- 外注資金が予想より高く資金の調達が今学期までに間に合わなかった。

⑤
今後の活動内容や今後のビジョン

- 自分で調べて作成できそうな機能は作成しつつ費用をためて、外注費の折り合いをつける。

CHALLENGE奨学金
活動報告

経済学部・橋口涼

目次

★活動テーマ・活動目的

★活動内容・成果

★今後の活動内容

活動テーマ

ヤングケアラー・若者ケアラーの現状を

元当事者の視点からウェブサイトで発信、

支援の手立ての検討。

活動目的

発信



世に正確な情報を
届ける

支援



当事者の負担を
軽くする

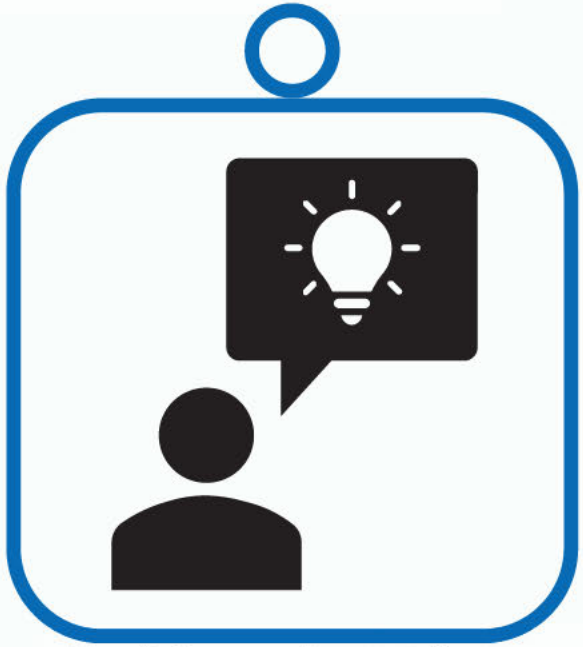
活動内容・成果…自作のウェブサイトにて発信



https://care-diary.com

※ウェブサイトにて活動内容・成果の全てがわかります。ご覧ください。

活動の成果



自分の経験を
言語化できた



思いのほか
アクセス数が伸びず

今後の活動内容

★ コンテンツの充実

★ 当事者への相談体制の強化

★ 持続可能な活動のための収益化

★ 動画コンテンツ？？

#新機構「超電導コイルを用いたギロアクチュエータ」の開発

#Guiro Actuator using SC coil

理工学部 ロボティクス学科 ３回生

萩原 孝紀

#活動目的

エネルギー変換効率の向上

超電導のゼロ抵抗という，特徴はアクチュエータ内の無駄な消費エネルギーを徹底的に抑えることができるのではないか

ロボット産業の発展

人間の筋肉のようなアクチュエータを目指している．小型で高出力，柔軟な動きをすることで，人間の生活に役立ち，そして調和するようなロボットの誕生を考えている．

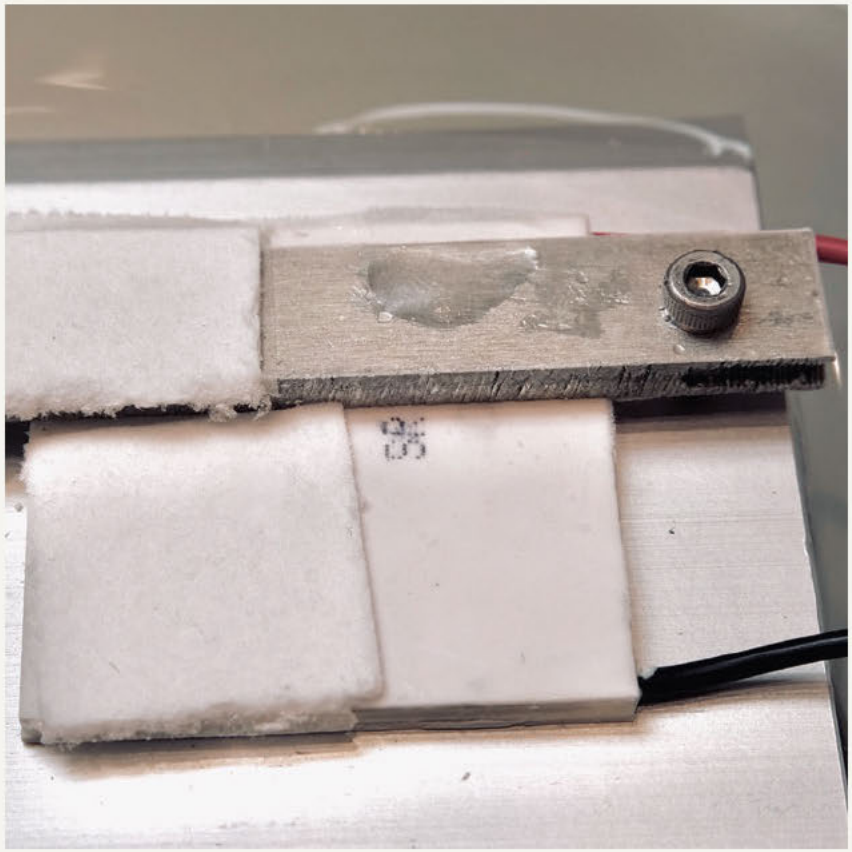
#活動内容

#超電導線材のはんだ付けテスト



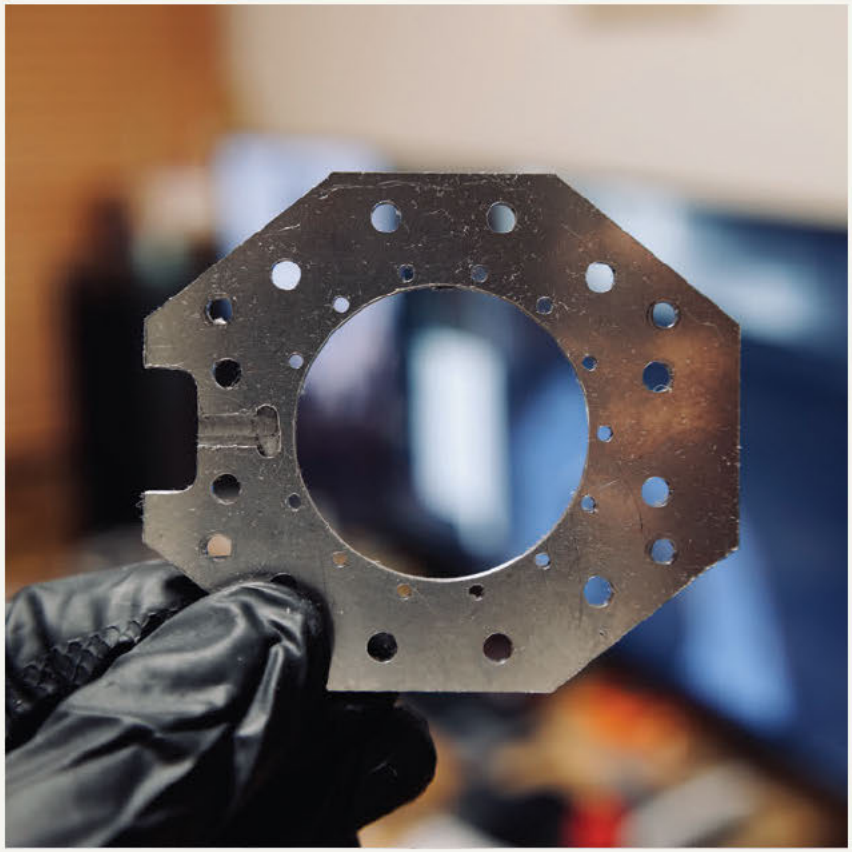
#活動内容

#断熱材テスト



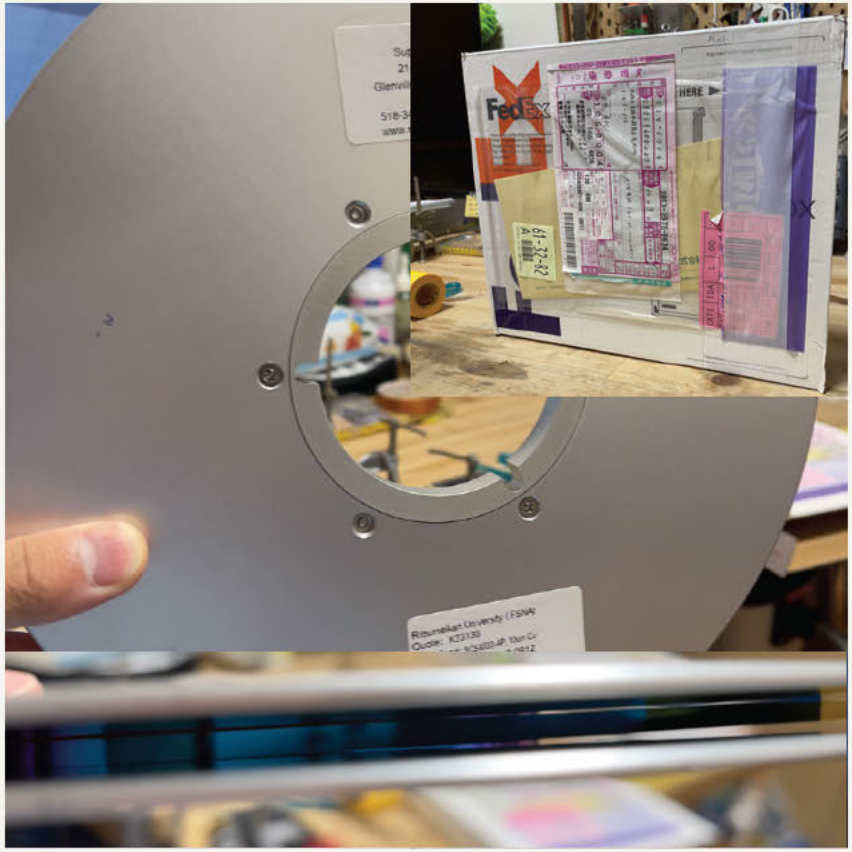
#活動内容

#純鉄材部品の切り出し，CNC加工



#活動内容

#超電導線材チェック



#活動成果

自己成長

製作が中心であったため，物理や電気の分野での新たな発見や学びは比較的少なかったが，加工技術において，純鉄やFRPなどに関して，新たな知見を得ることができた.

製作の過程では，加工業の常識やノウハウに多く触れる機会があった．どの様にすれば，製品はうまく作り上がるのか，材料をどう生かしてものを作り上げるのかなど，そのようなことは今後エンジニアとして，モノを作り上げる上で，とても重要な知識であると感じた.

研究の進展

P7ギロアクチュエータの大部分の部品が完成している.
組み立てと，実験を待つだけである.

#活動の展望

次期型のギロアクチュエータの製作を進めているところだが，シミュレーション結果と実機の差を確かめたい．そのため，4月ごろに製作を完了させ，5月に実機での実験しようと考えている．また，実機の製作途中では初めて導入となる超電導のNIコイルの試験も完了させなければならないため，コイルのみの実験を行える様に準備を進めている．

この研究が成功して，理想としている，「エコ・高効率・コンパクト・高出力」な超電導ギロアクチュエータが完成すれば，社会や産業に与える影響はとても大きいと考えている．ロボット分野では，飛躍的な出力の向上とモバイル性が期待されるため，劇的に高度なロボット開発を可能にすることが考えられる．宇宙の分野に関しても，宇宙空間が超電導に適した，極低温環境であるため，すぐに応用が始まるだろうと考えている．更には，重機等のエネルギー消費が大きいものに応用すれば，大幅なエネルギー損失のカットにつながるため，エコな未来を作る手助けができるのではないかと，考えている．

2021年度 challenge奨学金
活動報告

[redacted]萩嵜 真波

活動テーマ・内容・目的

・活動テーマ
タカの渡りの観測データを気軽に投稿し、情報共有のできるアプリの開発

・活動内容

タカの渡りの観測データを投稿して手軽に情報交換ができるアプリをGISを用いて開発する

・活動目的

多くの方に環境保護・自然に興味を持ってもらうこと、タカの保全活動の推進

活動の成果

・活動で得たこと
  ・Google Earth APIについての知識
  ・QGISについての知識

・失敗から学んだこと
  ・1人で進めていくには限界があることを知った

今後の活動内容や今後のビジョン

どんなアプリを作りたいか

- アーカイブズ・シリーズのようにGoogle Earth上に鳥の写真を載せられて、開くと何羽・その方向に飛んだのか等閲覧できるような形式にしたい
- データをKML形式でダウンロードできるようにし、それを各自がQGIS等のアプリ上で閲覧して解析できるようにしたい
- 入力された観測データをwebサーバ上に保存する
- 誰でもデータを更新できて、閲覧できる

今後の活動内容や今後のビジョン

実現に向けて取り組みたいこと

- データを格納するためのWebサーバーについて学ぶ
- Google Earth APIについてこれからも勉強を続ける
- QGISの扱い方についても勉強を続ける
- KMLファイルについて学ぶ
- 協力者を募る

主に読んだ本の紹介

- Google Earthアプリケーション開発ガイド
  Google EarthのAPIについて学んだ
  アーカイブス・シリーズを知るきっかけになった本

- 改訂新版 統計・防災・環境情報がひと目でわかる地図の作り方
  QGISの扱い方について学んだ
  本についているDVDROMからQGISをダウンロードしすることができて良かった

1．活動テーマと目的

【テーマ】

建築の設計を通してコミュニケーションの場について今後のあり方・建築を考え、発信すること

【目的】

SNSの発達に伴い人々はオンライン上で会うことが増えました。
しかし、このような世の中になったことで、人と人が対面で会う価値が今後より高まると私は考えています。
そこで、自分の卒業設計でコミュニケーションの場としての建築を提案して発信することで、人々に考えるきっかけを与えます。卒業設計を外部の展覧会に出展することで、出会った建築家と討論を交わし、自身の考えたことがどう評価されたのかを学ぶことが目的です。

2．活動内容

正課では２月に卒業設計の提出をして学内で発表を行う機会があるが、そこでは学内の学生や生徒にしか提案を聞いてもらえません。
そこで卒業設計で作り上げた設計作品をさらにブラッシュアップして、外部のコンペティションに提出して発信することでさらに多くの人にコロナ後のコミュニケーションの場を考えるきっかけを与えました。

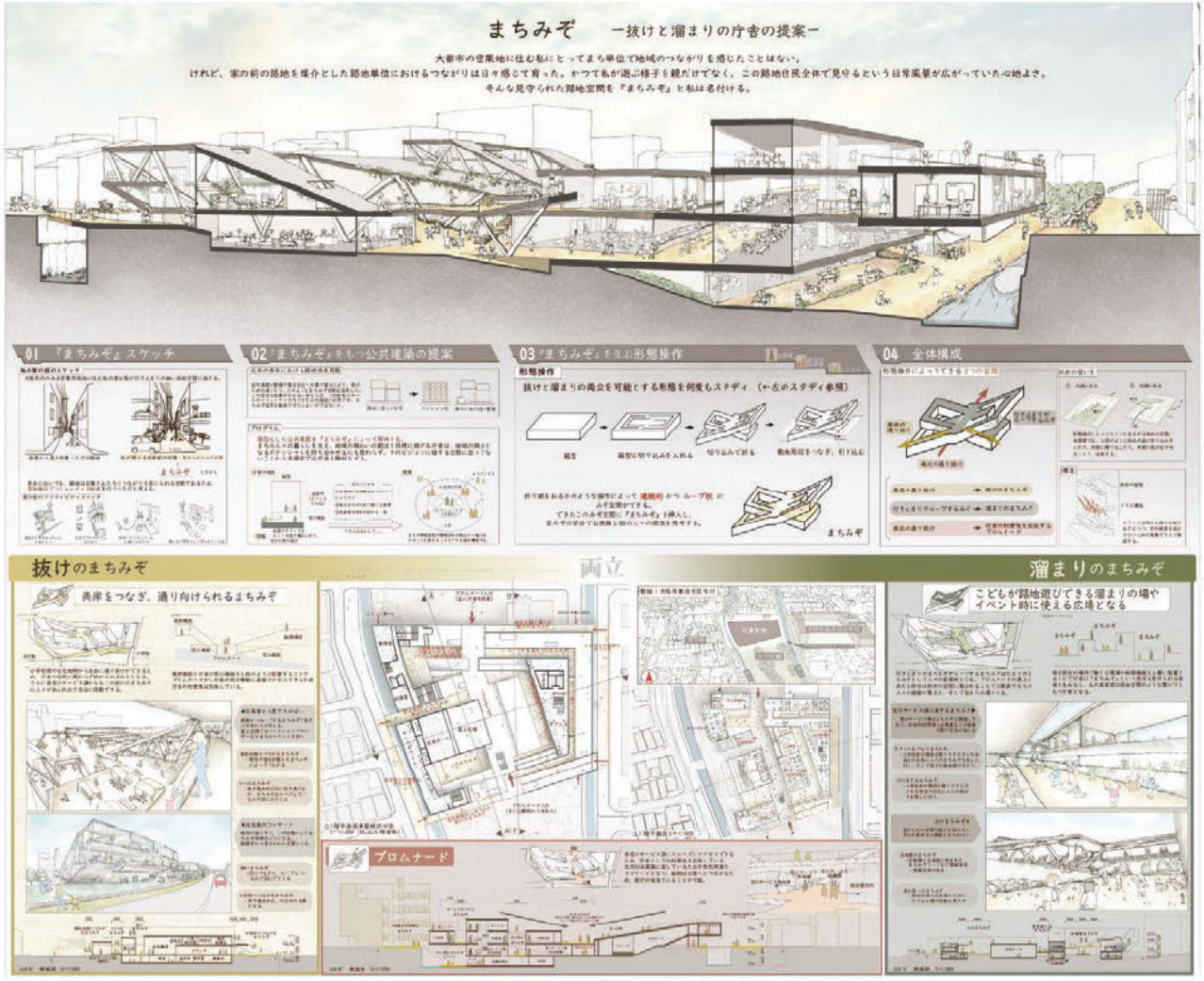
【具体的には、、、】　Diploma×KYOTO’22 という卒業設計展を行いました。



←16大学合同

2．活動内容

卒業設計を
ブラッシュアップした案



3．活動成果



ここのブースを拠点に建築家や他大学の建築学生と意見を交わしました。来場者などの一般の方の意見も聞くことができました。
そこで公共建築の今後の在り方について考えるきっかけになったと思います。
ここで知り合った人にほかの展覧会への出展のお誘いもいただけました。そのため、さらにこのコミュニケーションの場としての建築空間を発信することができます。

←私のブース

3．活動成果



さらに建築を対象にしたBEAVERというサイトでも一般公開しています。
ここでは、会場に訪れることができなかった方でも見ることができます。

BEAVER | マイページ (beaver-archi.com)

4．今後のビジョン

来年は立命館大学大学院に進学するため、引き続き建築の勉強を行います。そのため、今回の経験から学内の評価や学内の勉学にとどまらずに積極的に他大学と交流できる外部の展覧会やコンペティションに参加していきたいと思います。

今回の卒業設計の内容を通して改めて人がどのように建築空間の中でコミュニケーションをとるのかということに対して興味が強いとわかったので、公共建築の設計を主に行う会社に就職活動を進めようと考えています。また、今回の卒業設計展で出会った仲間と今後も関係を築いて行きたいです。

ナチュラルチーズの魅力を広めたい

立命館大学　食マネジメント学部2回
栗原優佳

活動目的

①子供たちにナチュラルチーズの魅力を広め、親しみを持ってもらいたい

→チーズは乳製品であり、カルシウム含有量が多い食品です。また、固いもののありよく噛んで食べることで虫歯予防に効果的であるとされています。これほどまでに、こどもの成長にとって優れた食品であるにもかかわらず、こどもたちにとってはあまりなじみのない食品である。そこで、チーズに親しみを持ってもらうことでこどもたちの健康増進の一端になりたい。

活動目的

②関西の酪農をもっと盛り上げたい

→酪農といえば北海道のように北の寒い地域が中心だが、関西にも多くのすぐれた酪農家がいる。そこで、関西圏に住む学生として関西の酪農を盛り上げるため、関西のチーズの魅力をアピールする活動をしたいと思った。

活動内容

①文献でチーズについて調べる

②自宅でモッツァレラチーズを作る方法を確立する

③子供向けオンラインチーズ教室を開催する

活動の成果

≪モッツァレラチーズの作り方≫
①牛乳を38℃前後まで温める
↓
②無糖ヨーグルトを加える
↓
③温度を保ったまま30分放置し、発酵させる
↓
④レンネットを加え、凝固させる
↓“チーズカード”が出来上がる
⑤カッティングし、脱水する
↓
⑥80℃のお湯の中で練る









活動の成果

≪モッツァレラチーズの作り方≫
①牛乳を38℃前後まで温める
↓
②クエン酸を加える
↓
③温度を保ったまま30分放置し、発酵させる
↓
④レンネットを加え、凝固させる
↓
⑤カッティングし、脱水する
↓
⑥80℃のお湯の中で練る



今後について

①ノンホモ牛乳×工業レンネットでモッツァレラチーズを作る

②ノンホモ牛乳×動物性レンネットでモッツァレラチーズを作る

③低温殺菌牛乳×動物性レンネットでモッツァレラチーズを作る

④植物由来のレンネットでモッツァレラチーズを作る

⑤子供向けチーズ教室の開催

Cheese project

2022年3月18日　平田束

目次

①「活動テーマ」

ナチュラルチーズの魅力発信とホエイの新たな活用を考える

②「活動目的」
③「活動内容」
④「活動の成果（活動して得たこと、失敗から学んだこと）」
⑤「これから」








HOURAI
Sharer
Farm





ナチュラルチーズに対する課題

- 価格が高い
- そもそもナチュラルチーズって？スーパーのやつがチーズじゃないの？
- チーズって臭いやん。苦手
- 身近だけど実は知らないチーズの世界

この楽しさ、美味しさを学生に感じてほしい！！



チーズを作るワークショップを開催！







今までの経験から感じたこと

自分	ものづくりよりも人と関わる方が好き。
楽しさ	知らなかった楽しさ 自分の好きなもので暮らす楽しさ 奥が深い

今までの経験から感じたこと

失敗	定期的なラジオ配信ができなかった。 計画の立て直しができなかった。 一人での活動の負担の多さ

これから

- 吸収したことを負担なく発信できるようなもの・方法を見つける。
- 仲間を増やして活動する。

キッチンカーで食から持続可能な社会を考えるきっかけを作る

立命館大学challenge奨学金　踏み出し支援
食マネジメント学部　　3回生　江波戸七央

1．活動の目的

現代において**持続可能な社会を実現する為に推進されている食材**を使ったメニューを開発し、販売することで食から持続可能な社会を考えるきっかけを作る。

当初からの目的の変化

当初はフードテック食材を使って持続可能な社会を考えるきっかけを作るという目的で活動を始めたがフードテック食材は食で持続的な社会を実現するための一部でしかなく、オーガニック野菜など持続的な社会を実現するために注目されている食材は多くあると感じた。そのため目的をフードテック食材から持続的な社会を実現する為に注目されている食材に変更し、活動を始める事にした。

本奨学金の使い方

本奨学金では大学でのキッチンカー出店を中間目標とし、その基盤づくりの為に使用した。

具体的な使用用途
食品衛生責任者の取得、PL保険の加入、キッチンカー出店費、書籍代など

2．活動内容

中間目標

大学内（BKC）でのキッチンカー出店にこぎつける事

理由
今回の活動ではメニューを開発しても、そのメニューを発信する場所はないと活動が自己満足で終わると考えたためである。そしてそのあと目的であるメニュー開発を行おうと計画を立てた。

大学出店のための障壁

大学にキッチンカーで出店の為には以下の４つの障壁があった。
- 個人事業主としての開業
- 食品衛生責任者の取得
- キッチンカーの確保
- キッチンカー出店実績



↑滋賀県庁前広場での出店時の写真

キッチンカー出店実績

そして大学出店の障壁の一つであるキッチンカーの実績づくりのために大阪府花の文化園と滋賀県庁前広場にて、計4回。オーガニック食材を使った商品の販売を行い実績を作った

販売した商品

今回キッチンカーにて販売した商品としては徳島県の名産であり、これからJA東とくしまが日本の有機栽培のモデルケースになるべく推し進めている**“ゆこう”**を使ったメニューを販売した



↑設立したお店の看板



↑実際に販売したキューバサンドとホットドリンク





↑ゆこうの写真

今後の活動

今回この活動の努力の結果、**“今年度4月から立命館大学（BKC)でのキッチンカー出店が決定した”**ためこれからはこのフォーマットを使って活動目的である**「食から持続可能な社会を考えるきっかけを作れるようなキッチンカー」**を運営していこうと考えている。そしてこの活動ではこれまで自分が学内で学んできたことが様々な場所で活かすことができただけでなく、活動の中で多くの学びがあったと感じている。そのためこれからもこの学びの場を発展させていきたいと考えているのでこれからもご支援よろしくお願いします！！！！！！

琵琶湖の水産物を美味しく
食べることで魅力を発信する。

食マネジメント学部　三回生
本間俊平

活動テーマ

琵琶湖の水産物を美味しく食べることで魅力を発信する。



水産物のポテンシャル

生態系
生物多様性など

SNSでの発信

活動目的

①食の選択肢としての琵琶湖水産物

背景として湖魚食文化が衰退し、一般的なものではなくなっている。需要が落ち込むにつれ漁獲量も減少し、食文化としての存続が危うい。

②希少な固有種やエコシステムについての認知向上

背景として減少を続ける固有種や、琵琶湖システムという人がかかわったことによるエコシステムの存在がある。

活動内容

①琵琶湖の食文化についての調査研究
②琵琶湖システム、環境保全型農業について調査研究
③琵琶湖水産物の調理試作によるポテンシャルの解明
④SNSにて発信する調理動画のプロトタイプの作成

①琵琶湖食文化の調査研究

方法

書籍やインターネットを主として調査し、これまでから現在の食文化とこれからの湖魚食の展望について、過去、現在、未来の三点から考察した。

考察の要約

食文化は歴史的背景の他、ヒトの介入による琵琶湖システムとの強い関連性があった。現在では比較的食べられ方にレパートリーが出てきているが、他の魚の代用である料理が多く革新性が必要。

②琵琶湖システムについて調査研究

方法

書籍やインターネットを主として調査し、ヒトと湖の関わりに焦点を当てて、エコシステムが作り出す生物多様性の影響まで踏み込み考察した。

考察の要約

琵琶湖システムは里山のようにヒトが関わることで成り立っているエコシステムであり、生物たちの絶妙なバランスで成り立っている。破壊されかけたシステムを取り戻す取り組みのもっと推進しなければならない。

③琵琶湖水産物の調理試作による　ポテンシャルの解明

方法
湖魚を捌き様々な調理を行った。

造り・洗い・カルパッチョ・塩焼き・ムニエル・照り焼き・あら炊き・塩茹で・あら汁・唐揚げ・フリット・オイル漬け・パスタ・リゾットなど

結果
海水魚に引けを取らない素材の品質のポテンシャルを痛感。



試作のため一部の写真のみ

④SNSにて発信する調理動画の　プロトタイプの作成

方法

レシピの考案、調理試作、調理動画の撮影、動画の編集。

結果

発信する前にプロトタイプとして、湖魚以外のレシピでも素材を集め動画を作成した。



活動の成果

①扱った湖魚は素材としてのポテンシャルが非常に高く、下処理も特別なことは要らず、様々な調理法すべてで美味しく食べることができた。一方で生食や素揚げといったシンプルな調理のほうが味が良かった。

②発信することの難しさを痛感した。動画を作成するという自己満足に陥らないよう、SNSマーケティングのようにどの層に対してアプローチするかなど戦略を練る必要がある。

③オンライン上での発信は、味もなく香りも伝えられない。そんな中で湖魚の魅力を伝えるためには、トレンドを抑え視覚的インパクトある施策が効果的ではないのかと考える。

今後の活動内容や今後のビジョン

　今回の取り組みの総括としてインプットが中心となり、アウトプットまで満足に達成できなかった。しかし琵琶湖の水産物について多面的に知識を得て考察するという踏み出しフェーズはクリアされたので、「いつどこで誰に何をどうやって」伝えていくのかという具体化フェーズを今後の活動内容とする。

　具体的にはレシピ動画の配信といったありきたりな施策ではなく、琵琶湖について学び食べるというオフラインでのイベントを企画開催し、よりインパクトのある五感で訴えかける施策行い、湖魚食や琵琶湖システムについての認知を確実に拡大していくことを今後のビジョンとして定める。



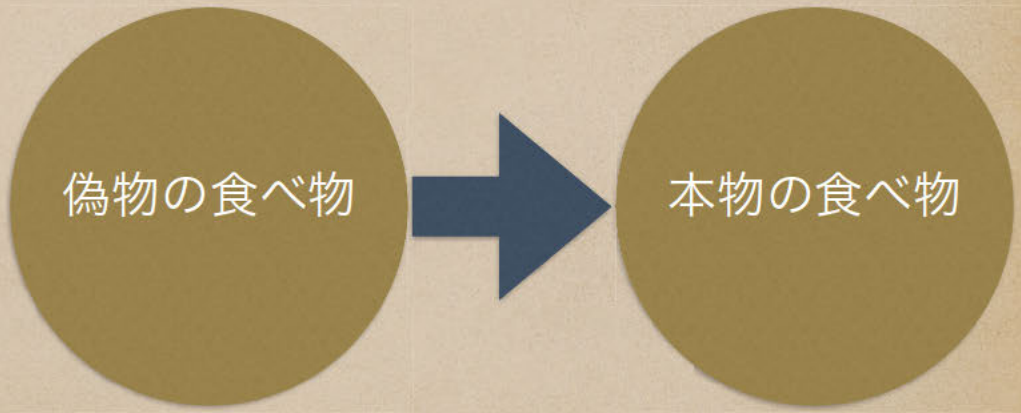
fakeからrealへ

山本花菜

活動テーマ

fakeからrealへ

- 自作の偽物の食べ物の商品→利益→寄付→本物の食べ物を届ける



活動目的



自分の【すき】を社会の役に



・食を届ける

・コミュニティ形成の場の創造

・人生に少しの彩りとスパイスを

活動内容①

【サステイナブルエキスポでの営業】
自分の商品をtoBに向けて営業を行う経験をしました。商品機能はもちろんのこと、自分自身の想いや、商品のストーリーをうまく伝える難しさを実感しました。また興味をまずひくポスターや声かけの工夫を周りから学びました。

【BKC学園祭での出店】
今まで一人で活動してきた中、チームで活動することの難しさと楽しさ、そして無限の可能性を感じました。

【草津市地域×学生マッチング交流会への参加】
地域の学生に対する想いを知りました。草津という魅力的な地域で、この土地だからこそ出来ることを共にしたいと感じました。コロナの影響でどちらもかなり先の予定とはなってしまいましたが、矢倉まちづくりセンターと6月と11月に体験教室を予定しています。

【体験教室の開催】
クッキーマグネットの体験教室を行いました。



活動内容②



【飲食店での店頭販売】
飲食店の客層を考えて何を売るかということを考えました。
市場調査は結局実際に聴くことに勝る方法はないと実感しました。

【オンライン販売webサイトの設立】

過年度まではメルカリなどの販売サイトにてオンライン販売をしていましたが、売上が伸びないため自分のwebショップを解説してみました。

サイトへの勧誘から自身でする必要があり、いまだ売上がたちません。

【SNSマーケティングInstagramの運営】

オンライン販売への導入、日々の活動記録として運営を続けています。フォロワーを500人から1500人までは増やすことができました。

上げる頻度や時間帯等試しながら自分の型が少しずつ見つかってきました。

活動の成果

自分だからこそ

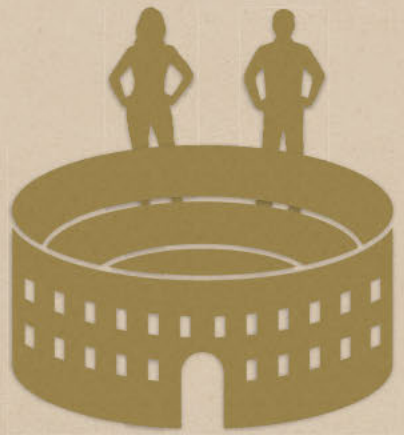
ニッチな趣味でビジネスをミニマムで
行う過程をInstagramで発信

→共感、小さな勇気

伝わる力

お客様、大学生、仲間へ
伝わっているものってなんだろう。
伝えた事よりも伝わったことへの視点の変換

今後の活動内容や今後のビジョン



シェアレンタルスペースを作りたい。

学生が集ってお店を簡単に開けるようなスペースを作りたい。まだまだ
ビジネスプランも実現策も固まっていないけどつくりたい。



Instagramフォロワー1万人

その他



FLOWER_VEGETABLE_



一万人フォロワー達成に向けて清き1フォローお願いいたします！

立命館大学Challenge奨学金報告会

食マネジメント学部4回生　新崎真緒

影に隠れた食材に光を当てる瓶詰め食品



正規の価格で出荷することのできない食材に光を当てる

トマトソース

兵庫県のとまとや中村阮さんの
贅沢トマトをたっぷり使用。
そのほかにはニンニク、玉ねぎを入れて
煮詰めたもの。

商品としてのロゴとしてはいい
ただ、何の商品なのかがわからない
→ラベルの再作成必要



りんごバター



青森県山上農園のりんごを使用。

りんご、砂糖、バターを使用。
デザート感覚でのヨーグルトやパン
にはもちろんのこと
お肉などのソースなどにも使える優れもの

商品としてのロゴとしてはいいが、何の
商品なのかがわからないからラベルの
再作成必要

今後やるべきこと

- デザインの調整

ラベルを制作して使ってみて、サイズ感だったり素材、
商品名としては何かわからないなどと
デザイン性の問題も多々出てきたため、商品ごとにきちんとパッケージを作り、調整しなければならない

・試作の最終調整
・保健所を通した衛生テスト
・原材料名といった内容の裏ラベルの作成
・賞味期限の設定
・生産者のところでの商品撮影

どうせたべるなら。

吉越 萌/Yoshikoshi Moe





「活動テーマ」
映像で一次産業の魅力を発信

「活動目的」
一次産業を盛り上げる！







「岩手県・日出島、隆勝丸のホタテ」
「静岡県・静岡、かのうファームのアサハタ蓮根」
「静岡県・静岡、荒木農園のイチゴ」
「京都府・京丹波、丹波農園の栗」
「滋賀県・新旭、上原酒造の日本酒」
「滋賀県・和邇、フィッシャーアーキテクトのエリ漁」
「滋賀県・高島、ファームりとあの柿、雪下大根、ホーリーバジル」

↑取材、撮影しました。
YouTubeにて隆勝丸のホタテ動画を公開しました。
Instagramにて生産現場の様子や生産者の声を発信しました。
3月2日に行われたシンポジウムにて上原酒造映像を発表しました。

「一次産業はぐんぐん成長できるフィールドに立っていること」
を身をもって感じれたことです。
あとは、独学ながらも動画編集技術を習得しました。



「今後の活動内容や今後のビジョン」

今後のビジョン:最初からがんばらない。人を頼って生きていきます。

今後の活動:
①3月14日から16日にかけて岩手県・隆勝丸さんのホタテ漁体験ツアーを実施ます。
身をもって波にもまれて、魅力に気づいてもらいます。

②たまりにたまった撮影素材を編集配信し、SDカードを空っぽにします。





せんでん

YouTube[もえきちメシ]



https://www.youtube.com/channel/UCwHXcTkmoOzzJ3-i1Ae-R-Q

待ちに待ったチャンネルが開設した。しかし中の人が生産者めぐりに夢中になるあまりに
動画のアップロードが全然されていない。それもあって登録者数は3桁にとどまる。早く
次の動画を...







アイデア取引サービス

WEBアプリケーションの開発

藤沢舜也

アイデア取引のプラットホーム

アイデアの閲覧 ＋ アイデアの投稿

活動目的

- コロナ禍における学生の交流
- アイデアの交換
- 開発,運営スキルの向上



活動内容

- Webアプリケーションの開発
- MVP検証
- サービス運営



活動の成果

- アプリ完成
- プログラミングスキルの向上
- 企画力





トップ画面イメージ



今後の活動

- 正式リリース
- サービス運営

大学施設の予約サービス

自己紹介

立命館コンピュータクラブ

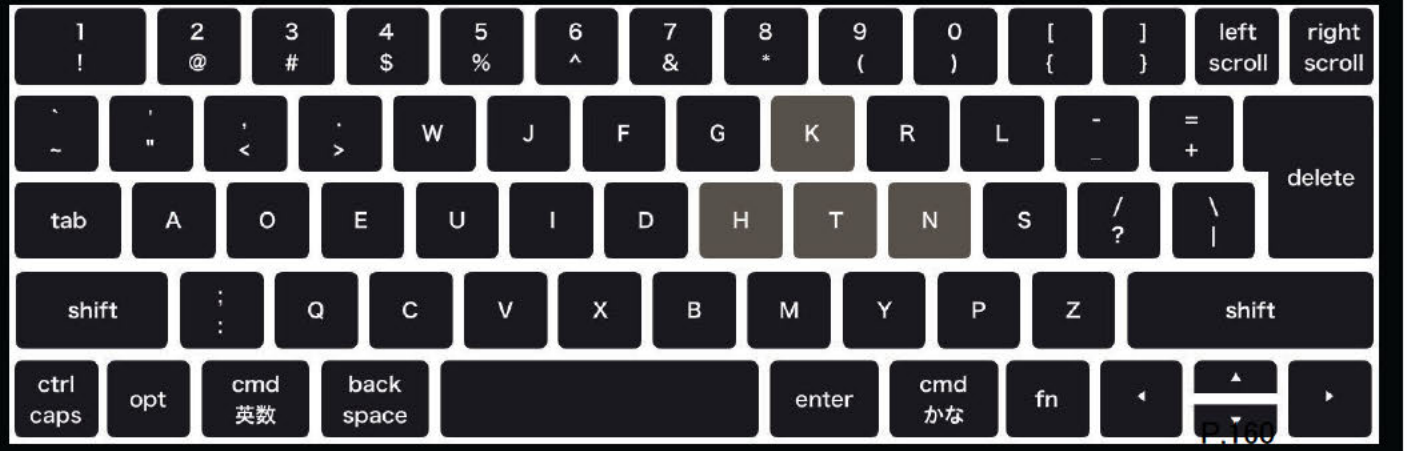
阿部　竜也

ABE　　Tatsuya

立命館大学３回生
実世界情報コース

@averak-jp





開発するソフトウェア

RCCで対面活動が再開された際に部室を利用したい日時に予約を登録するための会内向けサービス

目的

コロナ禍における人の出入りを制限・トラッキング
するためのグループウェアで対面活動の負担を減らす

活動の成果

稼働していたRCC会内サービスを大学の各団体向けに拡張するためのアカウントシステムを開発した

今後の活動内容やビジョン

IdPは完成したのだが、フロントは依然として会内向けのUIとなっているため、各団体向けのUIに拡張する

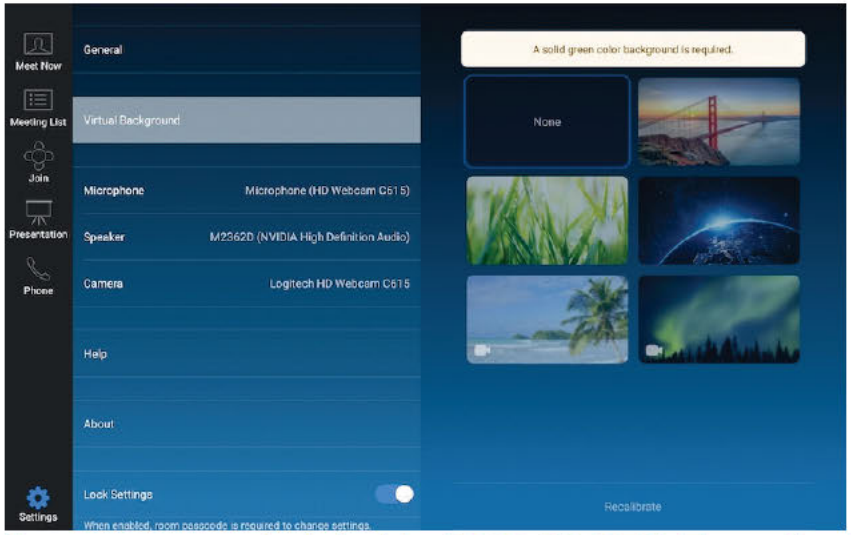
ZoomやMicrosoft Teamsなどに存在するバーチャル背景機能を除去する技術の開発及びその対策手法の提案

情報理工学部 3回 石川琉聖

活動目的-1

ZoomやMicrosoft Teamsなどに「バーチャル背景機能」が存在することはご存知ですか？

この機能はプライバシー強化の用途として使えますが，プライバシー保護の目的で使用できません.



https://support.zoom.us/hc/ja/articles/360045819512-Zoom-ルームでバーチャル背景を使用する

活動目的-2, 活動内容

プライバシー保護のため，バーチャル背景を剥がすソフトウェアとその対策手法を提案することを目的としています

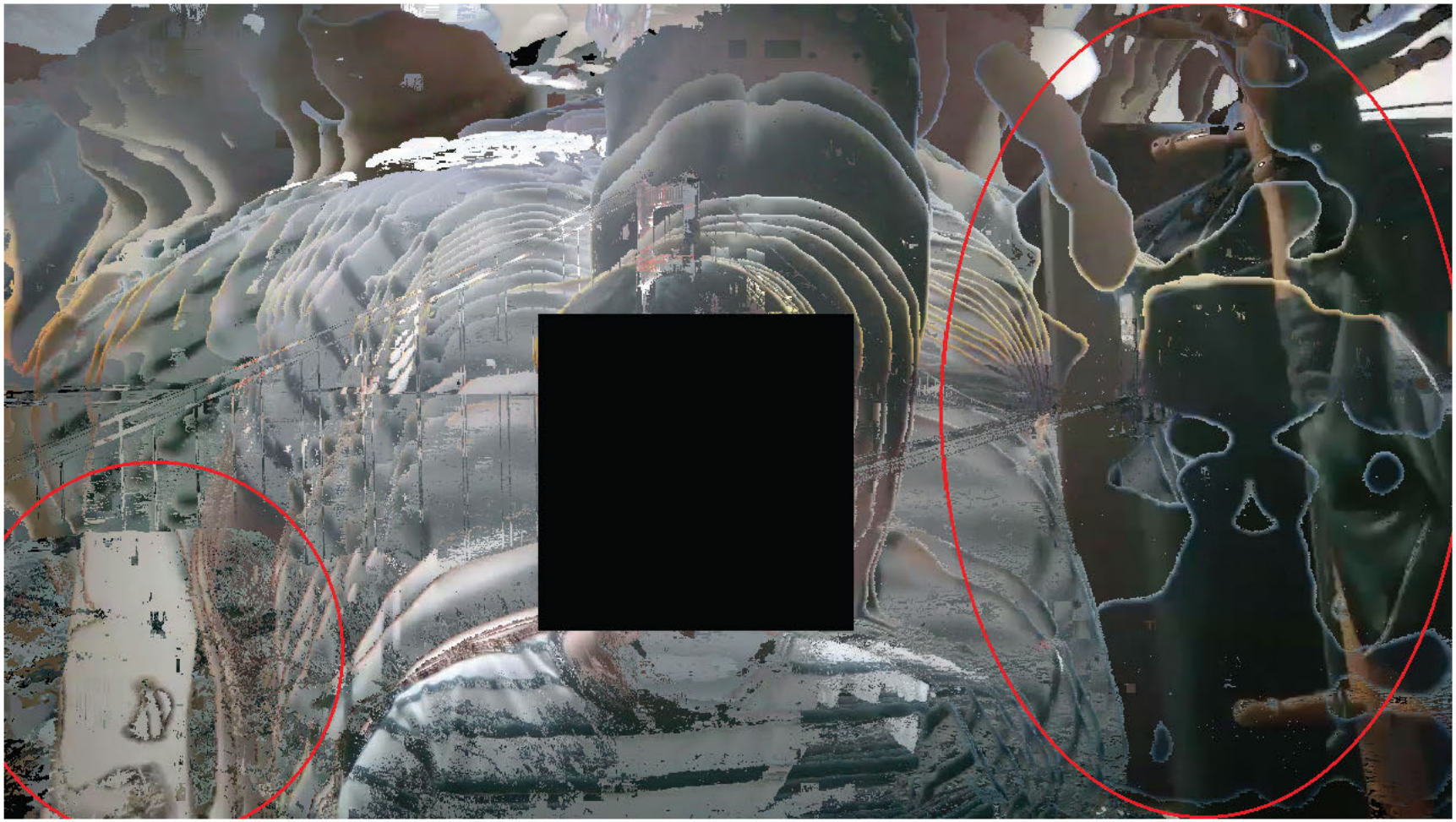
攻撃が可能である場合，攻撃者よりも先に攻撃手法を内密に確立し，対策手法とセットで公開しなくてはなりません.

そうしないと自宅から配信している芸能人のプライバシーだけでなく，会議やイベントに参加しているあなたの部屋を**予期せずに**世界中に公開することになってしまいます.

活動の成果

1. 情報通信システムセキュリティ研究会にて発表
    i. https://www.ieice.org/ken/paper/20210301ZCDg/
    ii. 情報通信システムセキュリティ研究賞受賞
2. OSSとして公開
    i. https://github.com/Tsuku43/zoomg
    ii. Star: 29, ダウンロード数: 2493, 月間新規ダウンロード: 126 (2022/2/28現在)

現状では平均で10数%の復元が可能でした.



https://github.com/Tsuku43/zoomg

今後の活動内容や今後のビジョン

- 新しくCPU(intel 12900K)を購入したので，現状のCPUベースのアルゴリズムでもより多くの手法を検討します
- 新しくGPU(RTX3060)を購入したので，機械学習ベースのアルゴリズムで実験的に導入します
- 精度を落としてでもリアルタイム復元に取り組みます

活動纏めスライド

中山 崇嗣

データ流出を防ぐ
ファイル暗号化システムの開発

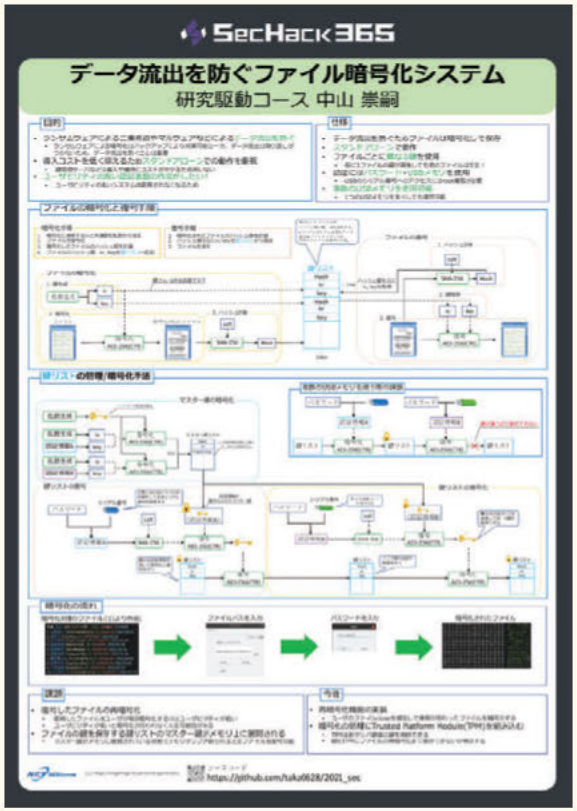
活動目的

- マルウェアやランサムウェアによるデータ流出の被害が拡大
  - 特に顧客データの流出は事業の継続に関わる
- 自前のセキュリティ機構を導入できない事業者を対象
- 事前に機密ファイルを暗号化して保存しておくことで流出時の安全性を守る

活動内容

- SecHack365に参加
- 暗号化システムの設計、開発、発表
- Trusted Computing Group(TCG)
  主催のハッカソンへの参加

作成したポスター



活動の成果

- **得られたこと**
  - システムのプロトタイプの完成
  - 成果発表の経験
  - 保守性の高いプログラム作成
  - TCGでのハッカソンへ参加
- **失敗から学んだこと**
  - 設計せずに開発を行っい、大きな出戻りが発生
    →設計の重要性を学んだ
  - 単体テストを軽視した開発を行った
    →テストの重要性を学んだ

今後の活動内容

- 鍵の保存場所の検討
  - 現在はパスワードとUSBメモリのシリアル番号から鍵を生成
  - 鍵管理に特化したデバイスの利用の検討

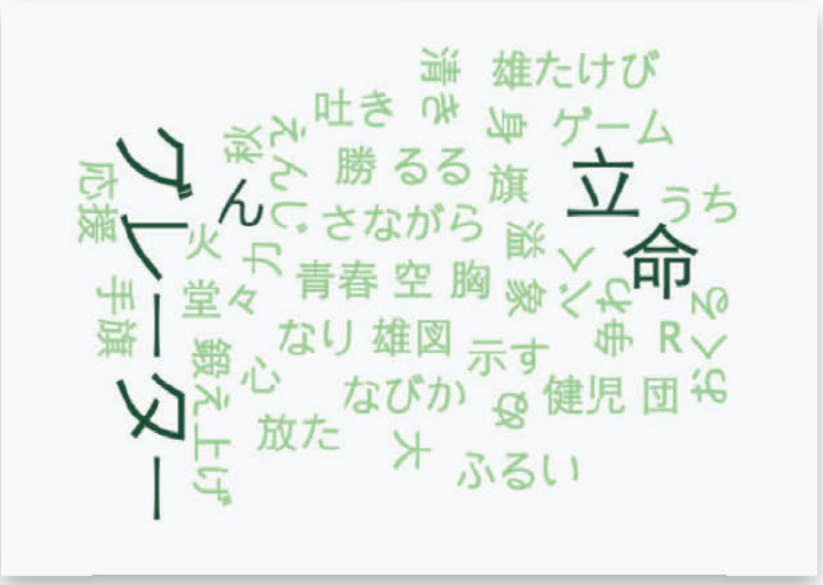
Word Cloud 画像生成 Web appの構築

立命館大学 Challenge 奨学金（個人）成果報告

星名 藍乃介 - 情報理工学部 セキュリティネットワークコース 学士課程3年

Word Cloud とは

- 自然言語処理
- 文章を可視化するテキスト分析手法
- 文章中の出現頻度に応じて各単語を配置
- SNSやWebサイト、論文などに対して
  話題の見える化をしたいときに使われる



「グレーター立命」より

活動目的

こんな Word Cloud 生成ツールを作りたい！

- 非技術者でも簡単に使える
- 登録不要、無料
- 文字数制限なし
- 高いカスタマイズ性
    - フォント、配色、回転角、クラウド形状など

活動の内容

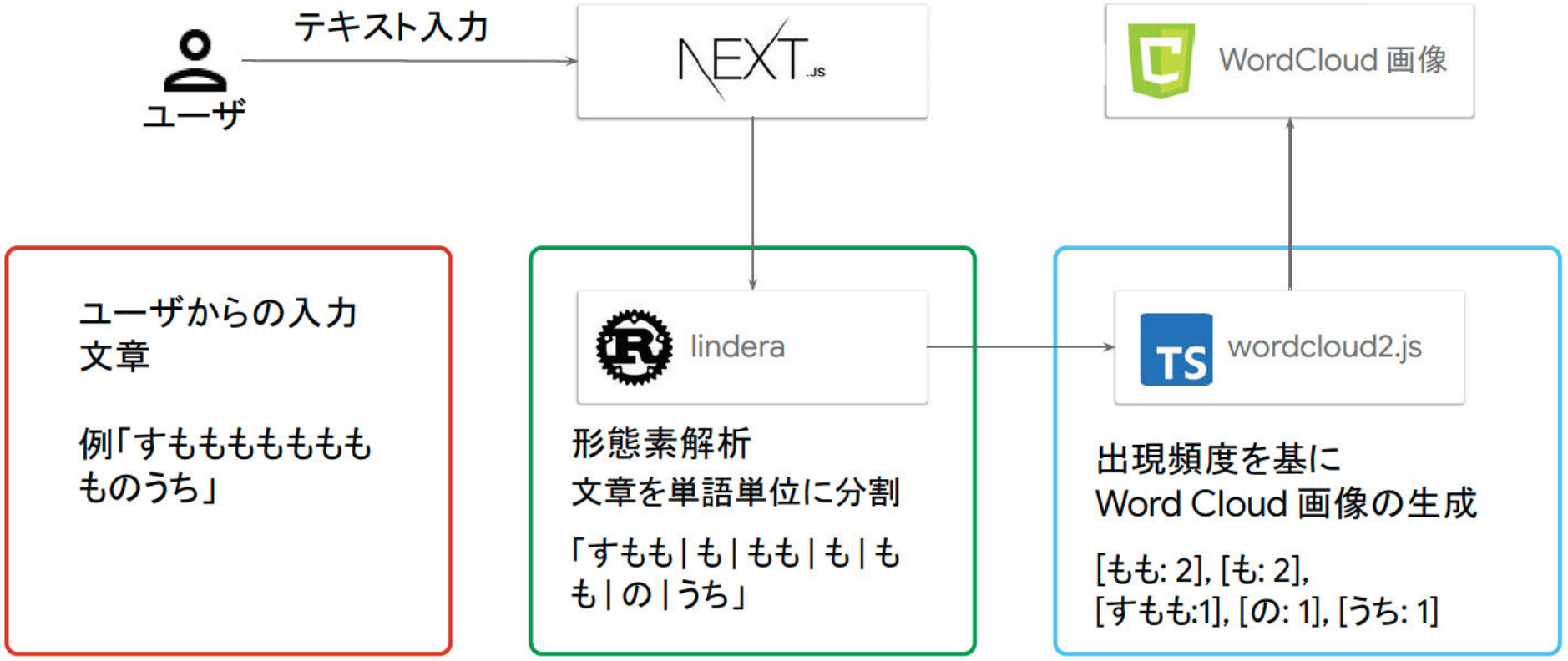
ver1.0
　用件定義、技術選定、設計&実装

ver1.1
　UI 実装、Progressive Web App 対応

ver.2.0
　処理が重い原因調査、再技術選定、
　オプションの実装、UI 実装



技術構成


ユーザ
テキスト入力
NEXT.JS
WordCloud 画像
ユーザからの入力
文章
例「すももももももも
ものうち」
lindera
形態素解析
文章を単語単位に分割
「すもも | も | もも | も | も
も | の | うち」
TS
wordcloud2.js
出現頻度を基に
Word Cloud 画像の生成
[もも: 2], [も: 2],
[すもも:1], [の: 1], [うち: 1]

活動の成果

- 自然言語処理技術の基礎知識が身についた
- 公式ドキュメントを読解する力が向上した
- GitHub Actions など開発の効率化のための自動化ツールについての知見が深まった
- 技術選定の失敗から、開発着手前段階での調査の大切さを痛感

今後の活動内容や今後のビジョン

- ユーザからのフィードバックで新たな課題点を発見したい
- 機能改善、UI改善
- 軽量化、高速化
  - 必要なら wordcloud ライブラリ開発貢献も
- 今回のプロジェクトで扱った技術への理解をより深めていきたい
  - Web 技術
  - 自然言語処理

GO TO. 野路

- 所属:情報理工学部
- 氏名: CAI Weihao
- [redacted]

活動目的

私は学校や南草津駅周辺に「ようこそ南草津『遺跡と萩の育むまち野路』の玉川へ」という大きな看板が発見しました。

立命館大学BKCキャンパスの所在地、南草津は神社やお寺および遺跡も保っています。南草津は歴史的な観光地ではないかと考えました。

「ようこそ南草津『遺跡と萩の育むまち野路』の玉川へ」の看板にいる各場所の写真、文字紹介および所在地を簡単に把握するため、私は南草津の各観光地を回り、素材を集め、南草津観光ガイドAPPを作りたいと思います。



活動内容

①看板に出る場所を回して、写真を撮り、場所の経緯度を記録します。

②草津市立図書館や南草津図書館およびネット上で、対象地に関する歴史の本や資料を参考します。

③集めた資料を少し加工して、文字紹介としてアプリに使います。

④ANDROID　STUDIOに関する操作をし始めて、基本のUIを作り、写真と説明資料をアプリに加えます。

⑤地図のAPIを利用して、利用者と目標値の位置をアプリに表します。

⑥アプリの最初画面の設計をPHOTOSHOPで作ります。

⑦専門のプログラマーと交流し、アプリをやり直します。

活動の成果

・活動して得たこと

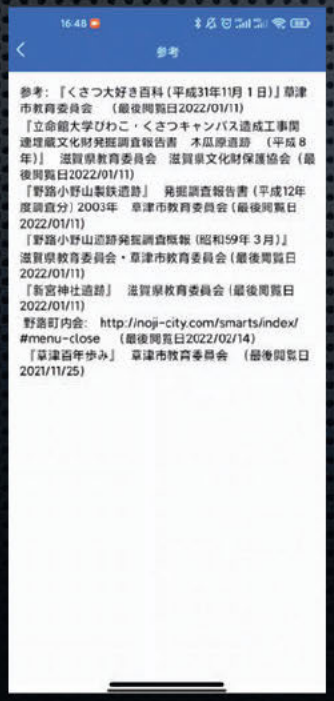
①プログラムの技術力が上昇しました

②南草津や日本に関する歴史を少し勉強しました。

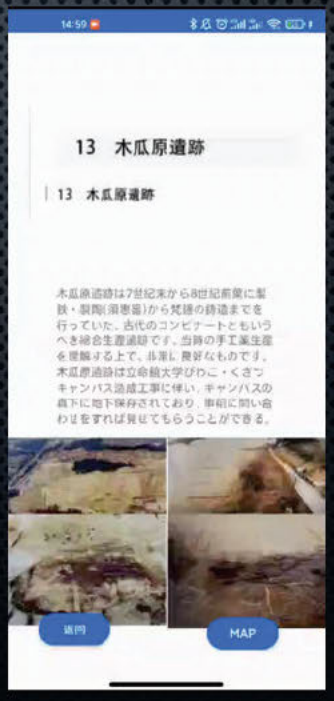
③専門のプログラマーは問題に対する考え方を見ました。

活動の成果


GO TO.野路
START
参考


参考
参考：『くさつ大好き百科（平成31年11月１日）』草津市教育委員会　（最後閲覧日2022/01/11）
『立命館大学びわこ・くさつキャンパス造成工事関連埋蔵文化財発掘調査報告書　木瓜原遺跡　（平成８年）』　滋賀県教育委員会　滋賀県文化財保護協会（最後閲覧日2022/01/11）
『野路小野山製鉄遺跡』　発掘調査報告書（平成12年度調査分）2003年　草津市教育委員会（最後閲覧日2022/01/11）
『野路小野山遺跡発掘調査概報（昭和59年３月）』滋賀県教育委員会・草津市教育委員会（最後閲覧日2022/01/11）
『新宮神社遺跡』　滋賀県教育委員会（最後閲覧日2022/01/11）
野路町内会：　http://inoji-city.com/smarts/index/#menu-close　（最後閲覧日2022/02/14）
『草津百年歩み』　草津市教育委員会　（最後閲覧日2021/11/25）


首页
5 玉川山 浄泉寺
6 白荻山 瀧林寺
7 重要文化財「新宮神社」
8 常徳寺
9 子守地蔵
10 「野路の玉川」古跡


13 木瓜原遺跡
13 木瓜原遺跡
木瓜原遺跡は7世紀末から8世紀前葉に製鉄・製陶(須恵器)から梵鐘の鋳造までを行っていた、古代のコンビナートともいうべき総合生産遺跡です。当時の手工業生産を理解する上で、非常に貴重なものです。木瓜原遺跡は立命館大学びわこ・くさつキャンパス造成工事に伴い、キャンパスの真下に地下保存されており、事前に問い合わせをすれば見せてもらうことができる。
戻り
MAP


地図
守口駅前 滋賀営業所
Union Cafeteria
ユニオンカフェテリア
Subway Ritsumeikan University Bkc
サブウェイ
立命館大学BKC店
メガテック田上

今後の活動内容や今後のビジョン

①専門のアプリを参考して、自分のUIをやり直すと考えます。

②マップの実装で利用者から目標値までの線路を表すと考えます。

RITSUMEIKAN

2021年度
成果報告会

スポーツ健康科学 榊原七夏海

活動テーマ

RITSUMEIKAN

ヒトの下肢動作と連動して歩行可能なロボットの製作



・高齢者の寝たきりの予防
・老々介護の負担の軽減
・歩行困難者がゼロ

活動内容・目的

RITSUMEIKAN

ヒトの骨格筋を装着した歩行ロボットの開発

・ヒトや動物に必ず存在する二関節筋の構造を装備

・健常者の関節角度を元に同じ歩行動作を行うことが可能

着るだけで計測可能なスマートウェア型関節角度計

・動作中も計測可能

・動きの妨げにならない

・広範囲，長期間で計測可能

・一人で着脱可能





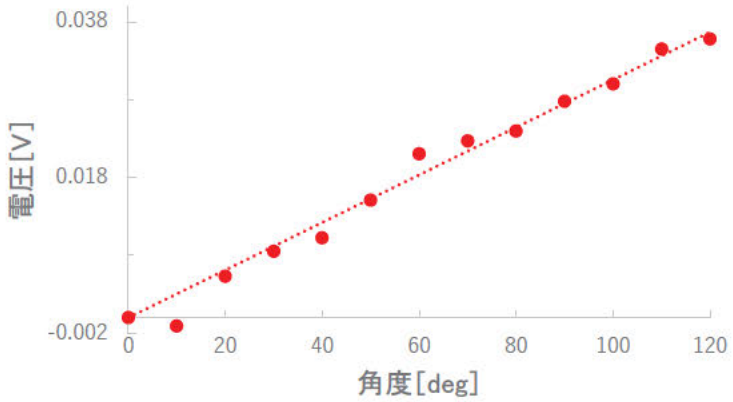


活動成果

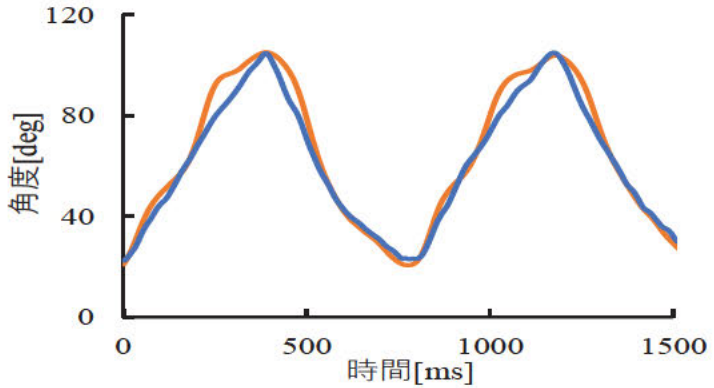
RITSUMEIKAN

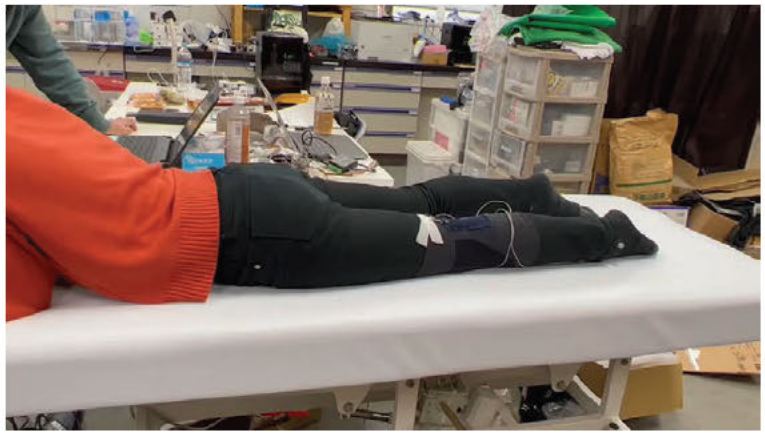
スマートウェア型関節角度計開発，改良，実験

〈センサの精度実験〉



〈屈伸動作実験〉





活動成果

RITSUMEIKAN

活動して得られたこと

・沢山の人との関わり
・貴重な経験
・負けん気

失敗から学んだこと

・何度も挑戦すること
・1つ1つ確実に丁寧に
物事を進めること

今後について

RITSUMEIKAN

・センサの実験の動作を増やす（歩行．ランニングなど）

・歩行ロボットの製作の進行

・学会発表

Tesma

～ 研究者と被験者を繋げるマッチングサービス ～

スポーツ健康科学部２回生

長岡　柳乃輔

活動目的

Why?

スポーツ健康科学部では実験が盛んに行われており、先輩から実験への参加を度々お願いされることがあります。
また大学構内のエレベーターに、2ヶ月前に見かけた被験者募集のチラシがまだ貼られておりそのチラシに上書きで延長された実験期間から被験者募集にかかる時間的な問題や労力の存在を気づき、それらを解決するためにTesmaをを開発することにしました。

1 活動目的

Tesmaを大学内に普及したら、、、

1. 研究の質を向上させる
2. 学生の収入源が増やせる。
   (時給2000円相当の実験もある)
3. 学生の知識・経験などの増やす機会を作れる

活動内容

・1に開発、２に開発…

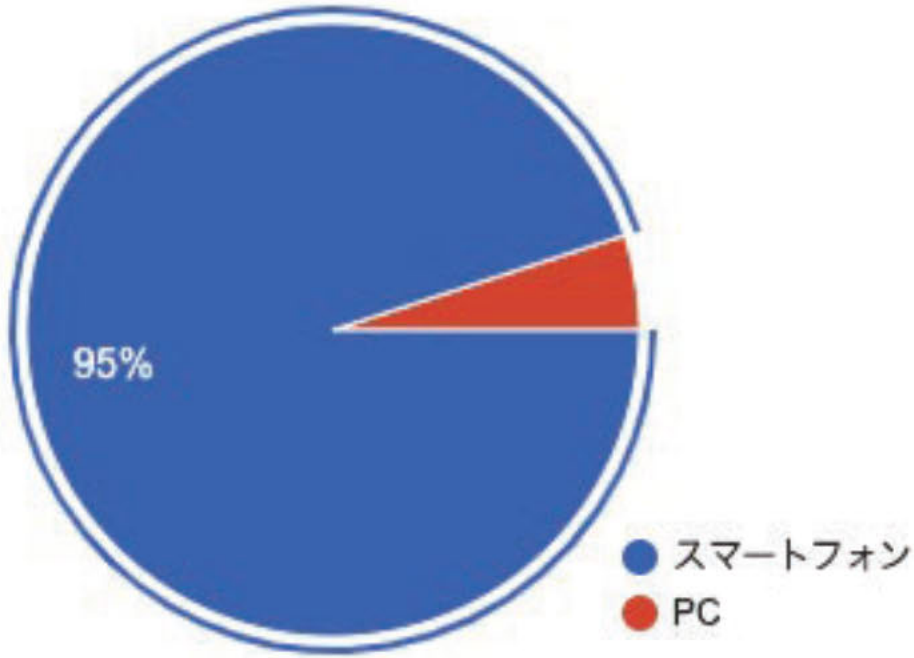
・被験者となり実験に参加

・スポ健の教授と相談

活動の成果

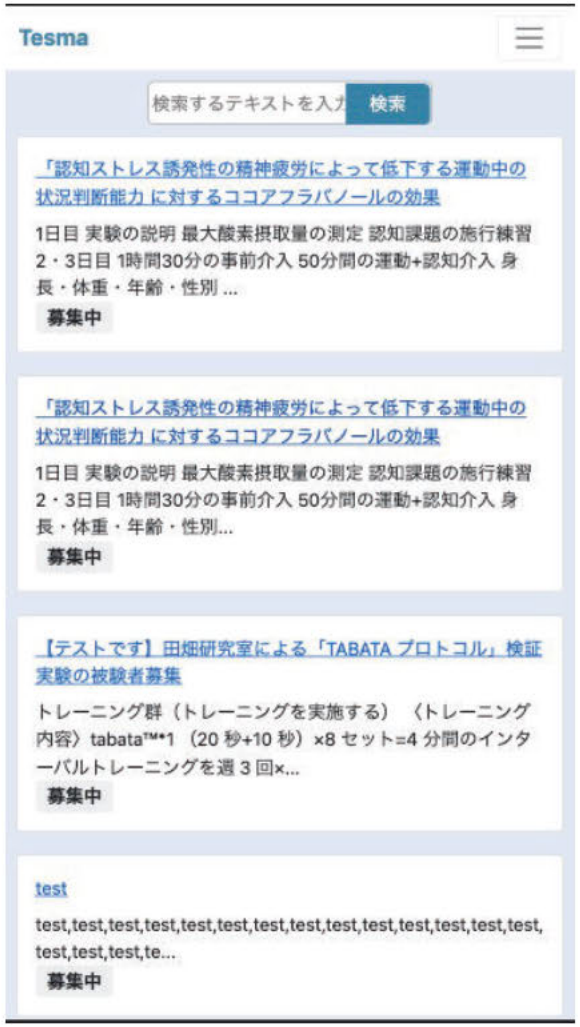
Q. Tesmaを使用するならどの媒体で利用しますか (r＝ 20)

95%がスマホで利用すると回答



活動の成果

ユーザーがスマホで使用すると仮定しスマホを意識したUIを心掛けた





使用技術 (おまけ)

- 言語:　Ruby (2.7.3)
- フレームワーク:　Rails (6.1.4)
- フロントエンド: Haml/CSS/Javascript/bootstrap5
- DB:　MySQL
- インフラ:　Amazon S3

これから

【最終目標】
Tesmaが研究の発展に貢献するサービスになりたい

そのために

中間目標：サービスをリリースして学内のユーザー数100人までいく。

・プロジェクトマネージャーをしてくれる人を探し協力してもらう。

・大学教授と話し合いながら、サービスの利用規約などを定める

・サービスの粗を改修する

Challenge 奨学金
活動報告



矢地　夏己

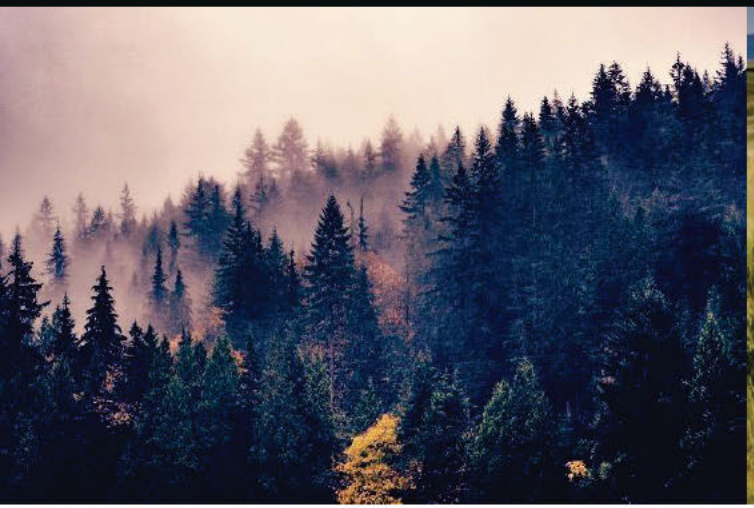


豪州の外国人労働者と日本のこれから

活動テーマ

活動目的

豪州の1次産業における外国人労働者の活用方法を見出し、日本にも適用可能なポイントを探す。また、それを農家や自治体に知ってもらう。





活動内容

- 資料などで、豪州における農業の実態と外国人労働者の重要性を調べる。
- 現地で酪農家として働いている方と、近くでワーキングホステルを運営している方の2名とzoomでお話。
- 調査した結果を日本の農家の方や自治体に知ってもらう。(まだできていない)

調査結果

- 豪州の野菜や果物の収穫を担っているのは約80％が外国人労働者
- 豪州のようなワーキングホステルが今後日本にも必要
- 日本も賃金上昇が必須！国籍を問わず、豪州の農業関係者の最低時給は約2000円

活動の成果

- 積極性…イチから農家を探し、メールなどでアポを取った
- 正課で学んだことを結び付けて考えれるようになった
- お互いの認識に齟齬がないか1つ1つ確かめるようになった

今後について

・調査結果を伝えることのできる日本の農家や自治体を探す

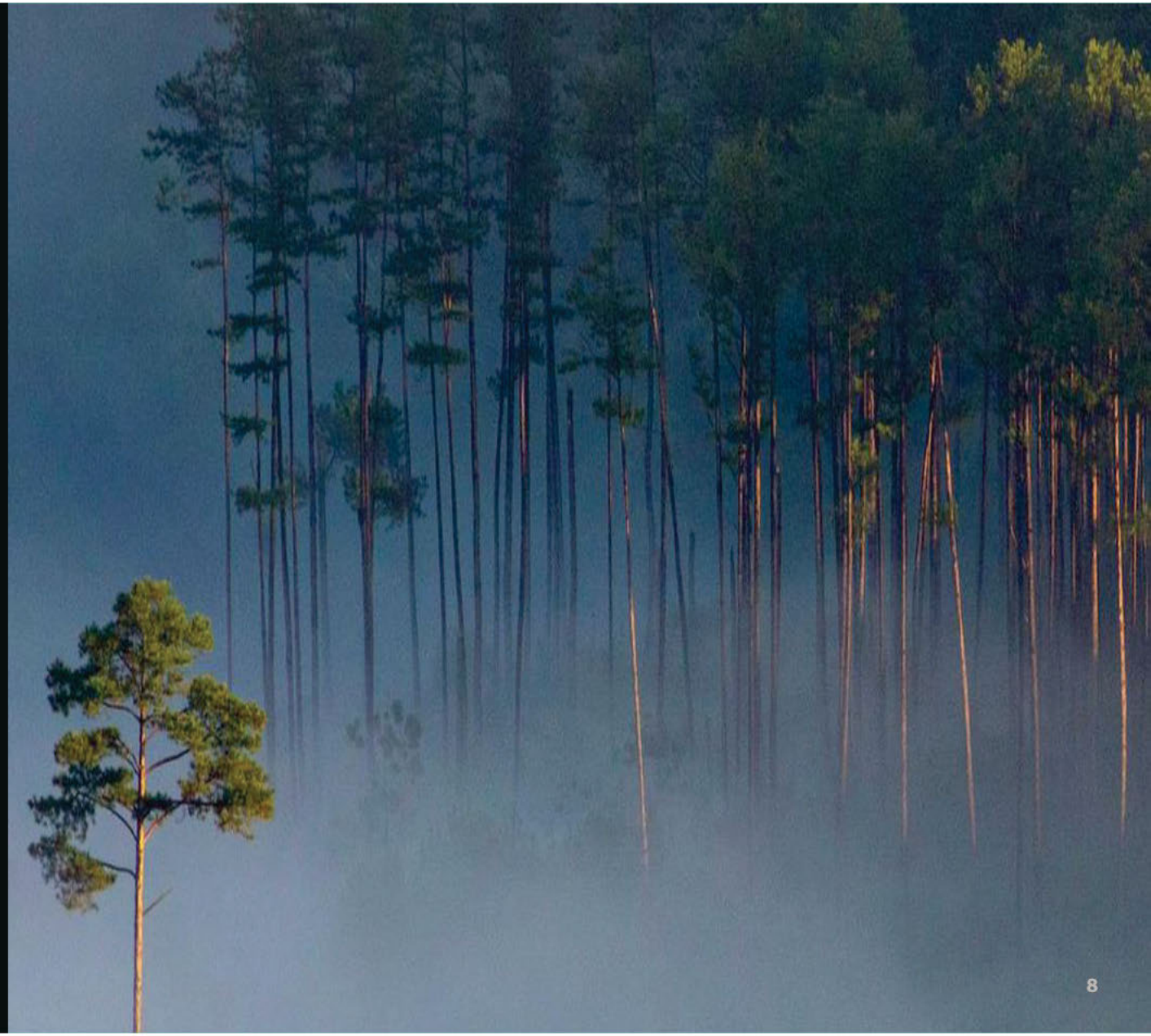
・ヨーロッパの1次産業に携わる外国人労働者についても調べる





ありがとう
ございます

矢地 夏己



2022



地元ばたけ
秋森 晃希



活動テーマ



・農業は「アウトドア」というイメージを作り出す。

・農園を公園みたいな感覚で使って頂く。

・1坪からスタートできる土地の有効活用。

「活動目的」

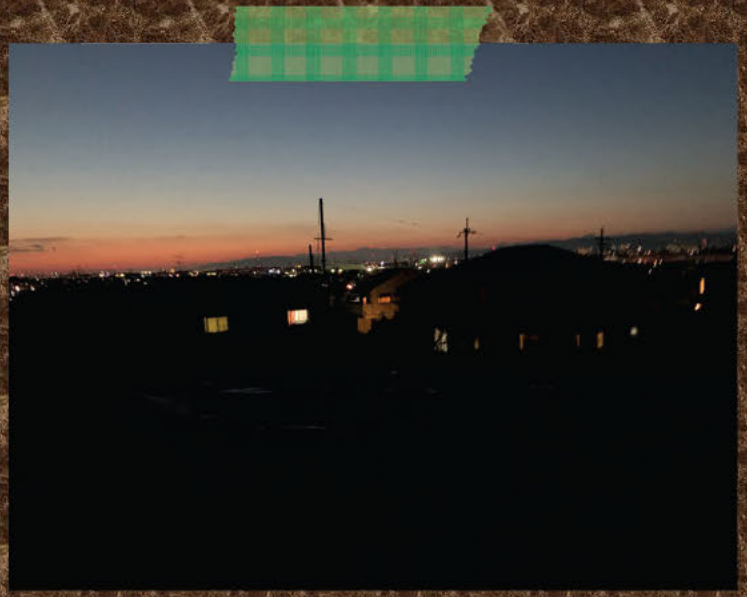


・交野市の特色である「田畑、里山の自然の豊かさ」という点にスポットを当て、現在もなお進んでいる放棄農地という課題に取り組む。

・コロナ禍においても農業を通じて地域活性化に貢献する。

・農業の楽しさを知ってもらい、農家の後継者不足という課題にも取り組む。

活動内容





・農業は「アウトドア」というイメージを作り出し、週末にハイキングするような感覚で田畑で農作物を育ててもらう状態を生み出す。

・住宅地にある小さな田畑や宅地跡も農園化。

・近所に農園があれば気軽に収穫へ行ける環境を創る。



活動成果



活動から得たコト

このプロジェクトを通じてリサーチ力が養えました。まだまだ確立していないマーケットの中で差別化を図りつつも市民やユーザーの声にも真摯に耳を傾けました。

今後について



・まずは新しい放棄農地の開拓です。その他にも、野菜はスーパーで購入するから近所の畑で新鮮野菜を収穫するという行動選択を増やすなどの目標にも取り組んでいきたいです。

ウィズコロナ時代の新たなアクティビティ（田畑フィールドでの地域イベント等）子供も大人も楽しめるフィールド（世代間交流、畑で野菜育てながら教育、アウトドア、体験）を創出していきたいです。

今まで以上に多くの市民を巻き込み、ローカルらしく一致団結して交野市を盛り上げていきたいです。

「 さいごに 」



私はこの奨学金にご採用いただき、資金面だけでなく精神面においても励みになりました。チャレンジ奨学金に採用されたんだ！という喜びや自信に繋がりました。自分のやりたいことを１からスタートする方や自分の活動を発展させたい方などにぴったりの奨学金制度で、まさに「チャレンジ奨学金」だなと感じました。

残りの学生生活もどんどんと挑戦して自分の肥やしにしていきたいです。

自分で育てた野菜はより一層美味しく感じるので農業は楽しいです！

立命館大学 Challenge 奨学金2021
活動スライド

立命館大学 経営学部 国際経営学科 4年　一瀬優菜

目次

① 活動テーマ
② 活動目的」
③ 活動内容
④ 活動の成果
⑤ 今後の活動内容や今後のビジョン

活動テーマ

日本のエシカル精神を呼び起こすため、
海外でフィールドワークをし、
得た知見を発信します

活動目的

持続可能な社会実現に向けて、「ソーシャルビジネス」「エシカル消費」「ソーシャルデザイン」の観点から英国でフィールドワークを行い、そこで得られた知見を発信し、立命館のエコシステムに還元します。

2015年9月の国連サミットで採択されたSDGsの影響もあり、持続可能な社会実現に向けた取り組みは消費者のみならず、企業や教育機関にも重要な課題となりました。立命館でも稲盛経営哲学研究センターの設置や、大学発のソーシャルインパクトファンドの運営、2030年に向けたカーボンニュートラル・キャンパスの実現などが行われています。SDGs時代に重要な役割を果たすエシカルな考え方を広めるため、また日本が従来から持つエシカル精神との融合をはかるため、このフィールドワークを実施し、立命館に還元したいと考えています。

活動内容

英国で環境や貧困、人種などの社会問題や、ソーシャルビジネス、ソーシャルデザインを学びながら、訪問などによるフィールドワークを行い、座学と実践活動による往還した学びを実践します。

- ソーシャルビジネスの観点：ビジネスモデルとしての違い、サービスやプロダクトの背景やこだわり、展開、コンセプト設定などに着目し、調査を行う。

- エシカル消費の観点：ソーシャルグッドなプロダクトやサービス、施設等がどのように日常生活に馴染み、浸透するようにデザインされているのかを調査する。

- ソーシャルデザインの観点：施設が提供するサービスや空間は、どのような教育的価値を生んでいるのかに着目し、イギリスにおけるソーシャルデザインの多様性を調査する。

活動の成果

ロソーシャルビジネス、エシカル消費に関する団体やショップへの訪問：

- ✓健康志向のスーパーマーケット「Planet Organic」
- ✓健康志向と地球環境保全を目指す「Pret a Manger」
- ✓貧困と不正を撲滅する「Oxfarm」
- ✓利益の全てをSave the childrenに寄付する「Mary's Living and Giving Shop」







サイトにて詳細を掲載しています。

(https://sites.google.com/view/uk-fieldwork22/home)

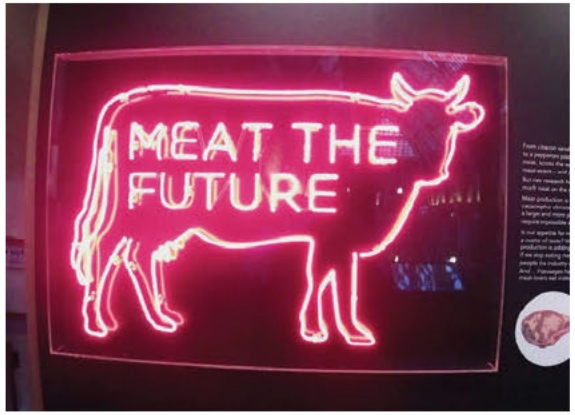
活動の成果

ロソーシャルデザインに関する企画や展示に訪問：

- ✓環境問題の提起とともに、商品プロモーションを行う期間限定企画「HOT CHOCCY」
- ✓肉食社会と社会問題の提供を行う期間限定展示「MEAT THE FUTURE」
- ✓ゴミとなった素材を活かし新しいものへ繋げる期間限定企画「waste age」







サイトにて詳細を掲載しています。

(https://sites.google.com/view/uk-fieldwork22/home)

今後の活動内容や今後のビジョン

✓ソーシャルデザインへの学びを深める

ソーシャルグッドな商品やサービスを提供するソーシャルビジネス、
そのビジネスにより提供される商品やサービスを購入するエシカル消費。
この二間にはソーシャルデザインが大きな役割を果たしている。
商品やサービスのプロモーションとしてのイラストやプロダクトなどのデザイン。
その場に訪れた人に体感してもらう空間やコミニケーションのデザイン。
「デザイン」と一言に言っても、多様な媒体が組み合わさって提供されている。
社会変容への新しい手段としてのソーシャルデザインを「つくる側」になるためのスキルを取得したい。

月額2,980円で起業

起業を安く、早く、簡単に。



StartApp

自己紹介



名前：野村壮馬
出身：立命館大学
回生：4回生
所属：StartApp代表
事業内容：オンライン起業支援
経歴：これまでに8つのアプリをリリース、2回の起業

活動テーマ

テーマ
「ノーコードによる起業支援事業」

活動目的

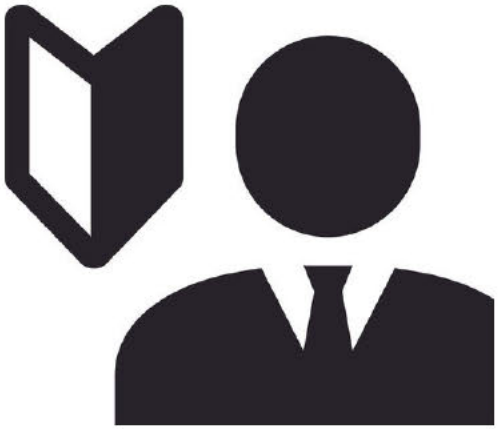
活動目的
「起業家の数を増やして
イノベーションを加速させる」

そもそも「ノーコード」って何？

ノーコードとは…

プログラミングせずに、パワポみたいに
アプリやWEBサイトを作れるツールのこと。

ノーコードの特徴



非エンジニア
でもできる



早く開発できる



費用が安い

1回目の失敗



01 リサーチとニーズの検証が不十分



02 マネタイズの方法が不十分



03 開発前に売り方を考えていなかった

失敗を活かして改善

01. 徹底的にリサーチする

02. マーケティングを考え検証を行う

03. 1人に刺さるサービスを作る

今後の展望

- ノーコード企業Adaloとの更なる連携
- 利用料以外の収益源を作る
- VCと連携して認知拡大

活動テーマ

ノーコードエンジニアを増やし、エンジニア不足問題に一石を投じる

宮川岳

活動目的

- ノーコードエンジニアを友人から増やす
- ノーコードを知ってもらい、最終的には、ノーコードではなく、エンジニアになってもらう
- そのためのパイプとなる

宮川岳

活動内容

- ノーコードツールAdaloとStudioを使用し、１週間に１回のズームと日頃のLINEのチャットで支援

宮川岳

活動成果

- 2人のノーコードエンジニアを育成しています。

宮川岳

今後の活動内容や今後のビジョン

- 2人の育成中のノーコードエンジニアに案件を獲得してもらう
- ２人の育成中のノーコードエンジニアにフルスクラッチ開発に興味を持ってもらうようにする（現に1人はSwiftを勉強中です。）

宮川岳



活動報告会

宮城こもも

活動テーマ

コロナ渦の中でも人同士の関わりを持つ

子供たちに英語の楽しさを知ってもらう

活動目的

- より多くの子供たちにリアルな英語を学べる機会を提供する
- 定期的なイベントの開催で参加者のコミュニティーの輪を広げる
- コロナ渦によって少なくなった人々の交流をオンラインという形を利用しながら増加させる

活動内容

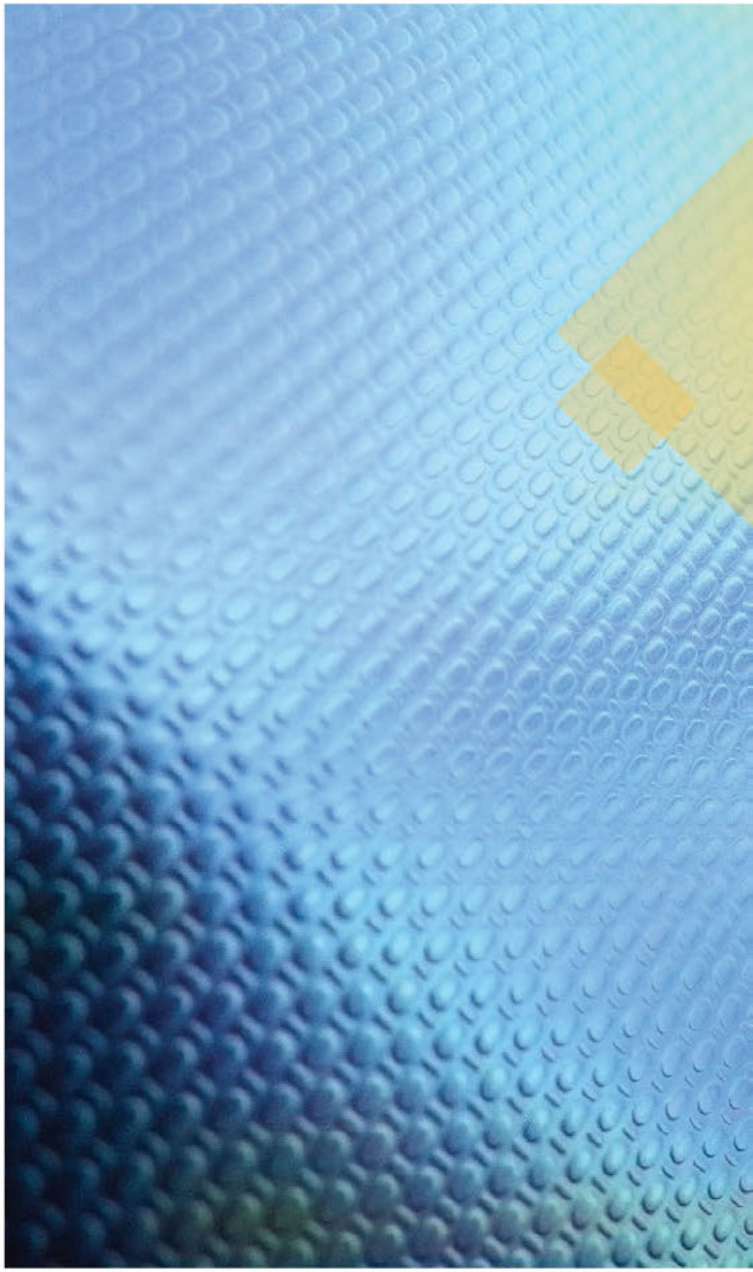
- 週に1回、30-45分程度の英会話教室
- 行事ごとのイベント開催
- オンラインでのボランティア宣伝活動



活動の成果

当初、他大学の生徒を巻き込んで活動を行うつもりであったが、コロナの感染が急激に拡大し、オフラインでの活動が行えなかった結果として、人員の確保が難しかった。

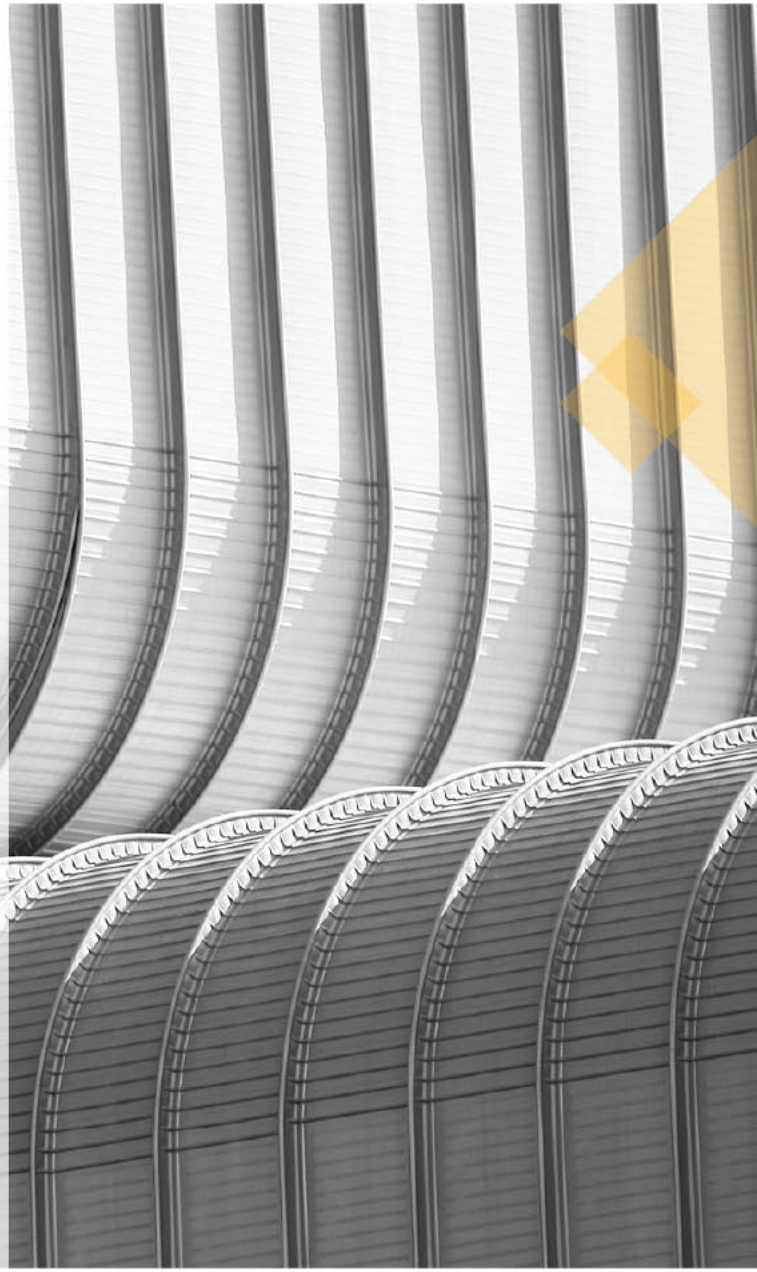
オンラインクリスマス会を通して、生徒さんの友達なども参加してくださり、交流を深めることができた。



今後の活動内容や今後のビジョン

オフラインの実現と生徒、講師の拡大

立命館大学、他大学のボランティア団体との交流





Activity Summary Slides

ARENDT PATRICIA GYOERGYI

[redacted]

Activity Theme:
Integration of German native speakers

eBook

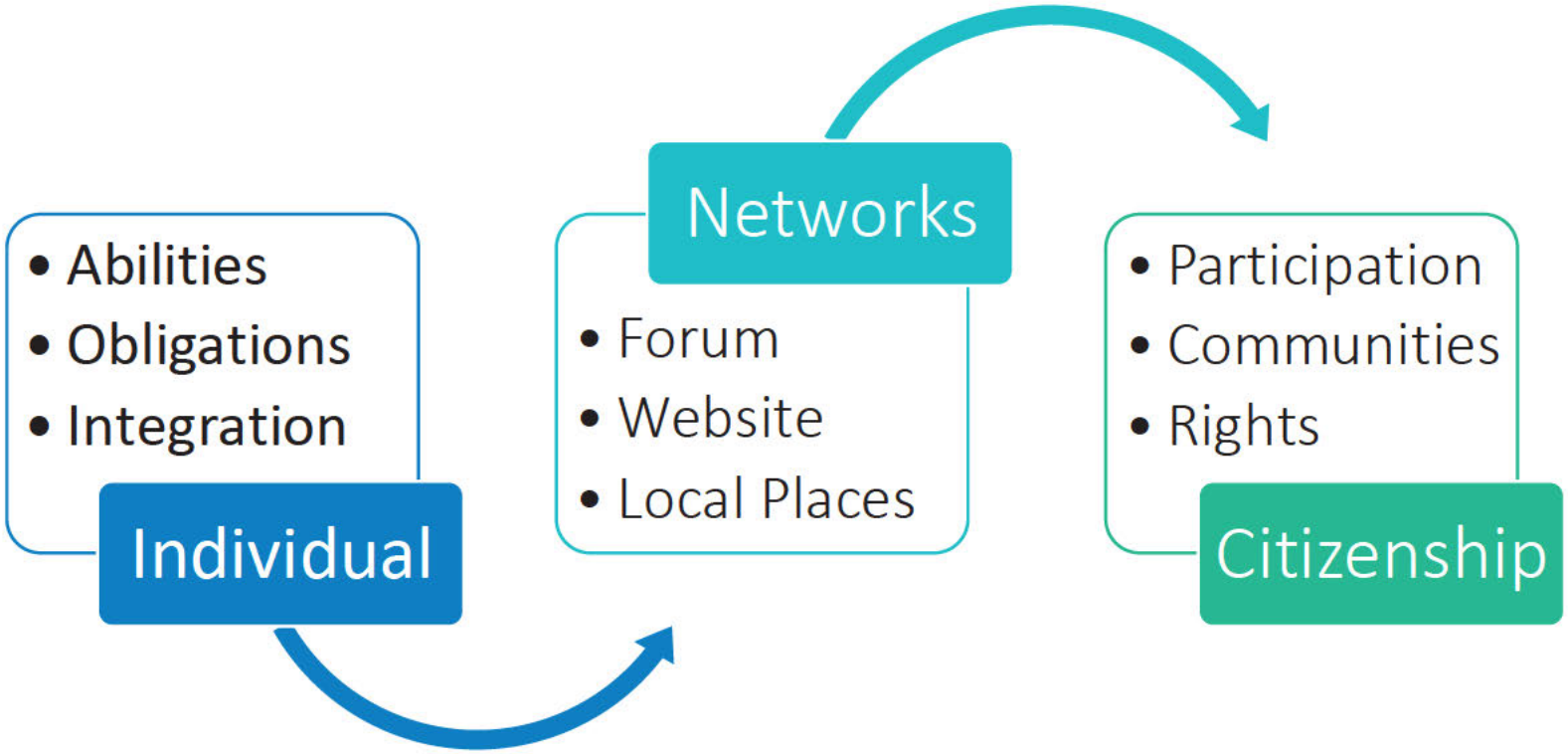
Community space

- Website
- Forum

Target Group

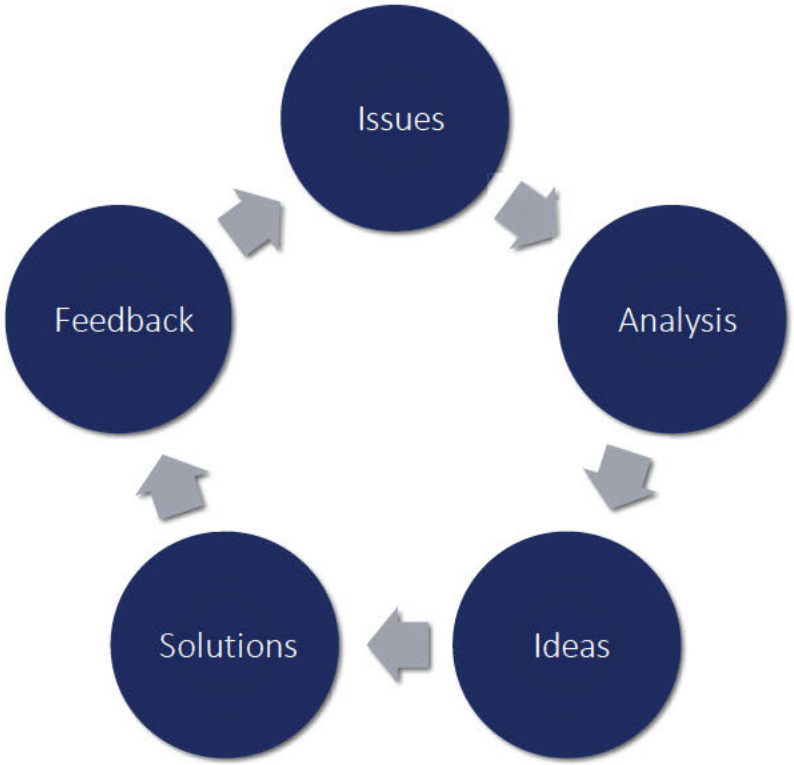
- German native residents in Japan

Purpose of the Activity: Improvement and Assistance



Contents of the Activity

1. Conduct interviews & surveys
2. Analyse & identify issues
3. Offer ideas
4. Translate information to German
5. Offer solutions
6. Get feedback on the forum & website
7. Write eBook



Results of the Activity

Gains

- Motivation & creativity
- Narrow down topics
- Identify main issues
- Practice writing in various styles for different target groups

Learnt

- New interview types
- Identify main questions
- Website programming
  - Different forum styles
  - Increase security

Results of the Activity



Which group is interested in staying in Japan for some time?

How many people will/are staying longer than one year?

Which barriers were faced?

How was it solved?

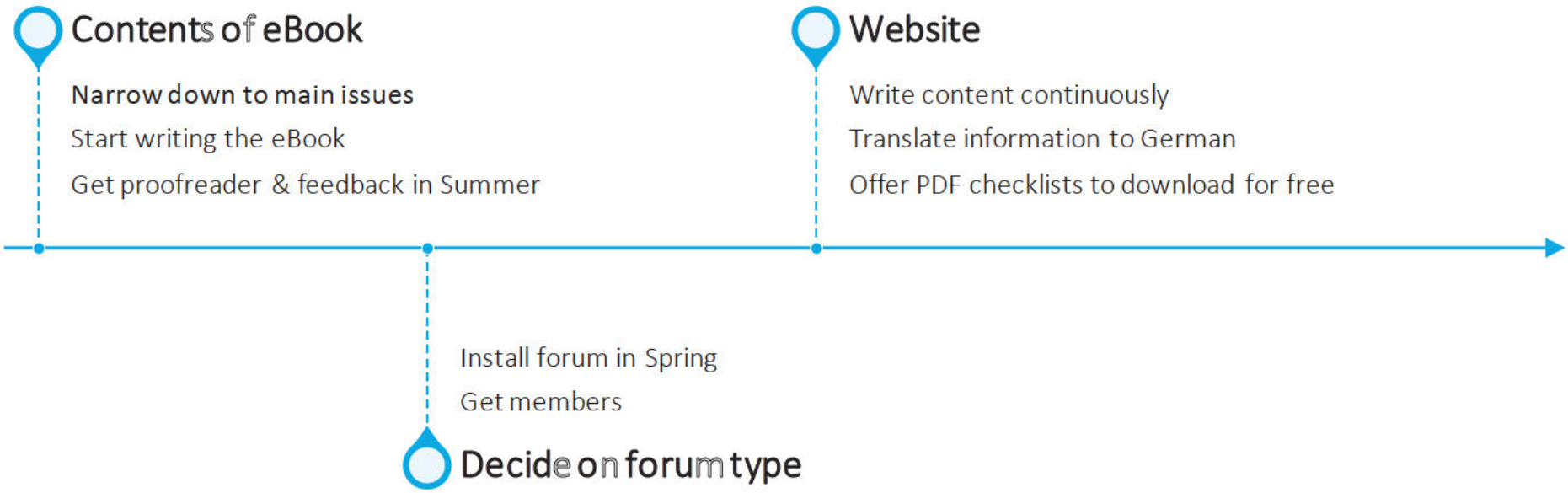
What type of help was/would be most useful?

More interest in short-term stay

English skill is useful

Overcome alienation

Future Activities & Vision of the Future



Thank you for Listening!

FRYM FOR RITSUMEIKAN

BRYNADA Dewi Fikri Hardiman
College of Policy Science
Challenge Scholarship
January 2022

- People’s postures tend to change according to habits. This habit can be slouching, crossing their legs, and such.
- The danger of this habit is if starts at a young age and the person adapts to what’s comfortable. This can put a strain on the spine, pelvis, muscles, tendons, joints, bones, and discs, leading to fatigue and deformation.
- Fix and Rejuvenate Yoga Motion (FRYM) is a branch of yoga focusing on improving your posture using traditional yoga poses with modern techniques and a contemporary purpose, we can achieve this goal by increasing our self-awareness, while at the same time rejuvenating our muscles, thus making us fitter.
- FRYM classes arrange sequences that provide an opportunity to stretch, release tension, and unwind, such a good counterpoint to busy lifestyles.

Week 1

FRYM Balance to Enhance Your Body Awareness Through Motions

- Any kind of self-work requires self-study. How do we know what we are working towards unless we start to observe and understand ourselves and our patterns. Many muscles in the body are used so regularly and repetitively that people stop being conscious of using them.
- In many cases, the older we get, the less in touch with our bodies we're likely to become. This class is a powerful way to help people trust and know their bodies again, this is a terrific tool for improving proprioception.
- It is awareness, continually deepening, that makes even a **simple posture** an advanced posture.

Level: This class is ideal for practitioners with chronic symptoms such as muscle/joint pain, stiffness, weakness or fatigue and fit for those who have practiced other yoga classes, but also suitable for those who never practiced yoga before.

Week 2

FRYM Balance to Keep Your Body Aligned

- Asana practice in this class is intended to keep the spine flexible. The first tenet for attaining and maintaining a flexible spine is keeping its entire length elongated as we perform our poses.
- We must constantly work against gravity to keep the spine from collapsing or shortening.
- Otherwise we literally lose stature as time goes on, along with range of motion and our youthful vigor.. this class emphasis is given to the basic alignment of the standing poses while systematically increasing the range of motion of every major joint to build body balance and alignment.
- Stretching the arms overhead is a great way to sense the elongation of the entire spine and to experience any misalignments

Level: This class is ideal for practitioners who have performed other sports and fit for those who have practiced other yoga classes, but also suitable for those who never practiced yoga before.

Week 3

FRYM Flex to Reduce Muscle Stiffness and Tension

- Flexibility is key in posture control because it aids in balance and motion range. Our bodies adapt to the postures we spend the most time in, and, over time, those shortened muscles can cause more health problems.
- These repetitive microtrauma or acute trauma may lead to the development of stress on muscle fibers and the formation of trigger points. In this class we will combine asanas with self-massages.

Level: This class particularly useful for those of us who have muscles that for various reasons—injury, overuse, or years of inactivity—resist stretching, and fit for those who have practiced other yoga classes, but also suitable for those who never practiced yoga before.

Week 4

FRYM Flow to Strengthen Your Muscles

- Building strength comes with the ability to control your body, no matter its position.
- This class focuses on dynamic functional movement that increases blood circulation throughout the body and increases your heart rate using a series of simple, repetitive, low-impact strength and muscular endurance exercises with an emphasis on muscular exertion in the abdominals, lower back, hips, thighs, and buttocks.

Level: This class is ideal for practitioners who have performed other sports and fit for those who have practiced other yoga classes, but also suitable for those who never practiced yoga before.

Outcome

Finally, no human body is perfectly symmetrical, and real-life humans do not resemble any kind of anatomical "ideal" (nor should we).

The goal is **not to achieve perfection**.

It is not about trying to look like somebody else and any ideal; it is about evoking your own personal potential. Your best will not look like anyone else's best. And you're stunning, whether you're at your best or on your way there (like the rest of us).